

RX Japan株式会社  
 株式会社秋田放送  
 アメリカン・モーション・ピクチャー・アソシエーション・オブ・ジャパン  
 株式会社IMAGICA GROUP  
 一般社団法人映画産業団体連合会  
 一般社団法人衛星放送協会  
 公益社団法人映像文化製作者連盟  
 株式会社ADKエモーションズ  
 エイベックス株式会社  
 株式会社エスピーオー  
 株式会社NHKエンタープライズ  
 NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社  
 大蔵映画株式会社  
 一般社団法人外国映画輸入配給協会  
 株式会社カインズ  
 株式会社KADOKAWA  
 株式会社カパコン  
 株式会社キネマ旬報社  
 株式会社キノフィルムズ  
 ギャガ株式会社  
 株式会社京映アーツ  
 キングレコード株式会社  
 株式会社クオラス  
 株式会社講談社  
 株式会社コーエーテックモゲームス  
 株式会社コナミデジタルエンタテインメント  
 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会  
 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会  
 埼玉県 彩の国ビジュアルプラザ  
 株式会社サンリオ  
 一般財団法人出版文化産業振興財団  
 松竹株式会社  
 株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス  
 株式会社STUDIO4℃  
 一般財団法人セガサミー文化芸術財団  
 全国興行生活衛生同業組合連合会  
 一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟  
 ソニーPCL株式会社

株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント  
 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント  
 株式会社第一興商  
 高津装飾美術株式会社  
 有限会社ティアーアイ・コムネット  
 株式会社TBSテレビ  
 株式会社ティールワイリミテッド  
 一般財団法人デジタルコンテンツ協会  
 株式会社デジタルSKIPステーション  
 株式会社手塚プロダクション  
 株式会社テレビ朝日  
 株式会社テレビ東京  
 株式会社電通  
 東映株式会社  
 東映アニメーション株式会社  
 東映ラボ・テック株式会社  
 東宝株式会社  
 学校法人東放学園 東放学園専門学校  
 東宝東和株式会社  
 株式会社東北新社  
 株式会社トーセ  
 株式会社トーハン  
 株式会社ドリーミュージック  
 株式会社ドリコム  
 中日本興業株式会社  
 名古屋テレビ放送株式会社  
 日活株式会社  
 株式会社日経BP  
 日本アカデミー賞協会  
 日本アニメーション株式会社  
 協同組合日本映画製作者協会  
 一般社団法人日本映画製作者連盟  
 一般社団法人日本映画テレビ技術協会  
 一般社団法人日本映像ソフト協会  
 日本映像翻訳アカデミー株式会社  
 一般社団法人日本音楽事業者協会  
 一般社団法人日本音楽制作者連盟  
 日本コロムビア株式会社

日本テレビ放送網株式会社  
 一般社団法人日本動画協会  
 一般社団法人日本民間放送連盟  
 一般社団法人日本レコード協会  
 株式会社博報堂  
 株式会社バップ  
 株式会社バンダイナムコフィルムワークス  
 ぴあ株式会社  
 株式会社フジテレビジョン  
 特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション  
 ブロードメディア株式会社  
 ホクエツ印刷株式会社  
 株式会社ポケモン  
 株式会社ポニーキャニオン  
 株式会社ポリゴン・ピクチュアズ  
 株式会社ホリプロ  
 武蔵野興業株式会社  
 ユニバーサルミュージック合同会社  
 吉本興業ホールディングス株式会社  
 讀賣テレビ放送株式会社  
 一般社団法人ライセンスिंगインターナショナルジャパン  
 株式会社ラパン  
 琉球放送株式会社  
 株式会社ワーナーミュージック・ジャパン  
 株式会社WOWOW

【賛助会員】

株式会社きんでん東京本社  
 スカパーJSAT株式会社  
 高砂熱学工業株式会社  
 株式会社みずほ銀行

合計:105社・団体

# Annual Report 2023

年間活動報告書  
2023.4.1-2024.3.31



〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル 2F  
 TEL : 03-3543-7531 FAX : 03-3543-7533  
 URL : http://www.vipo.or.jp/

編集・発行 特定非営利活動法人映像産業振興機構  
 2024年6月24日発行



この製品は、FSC® 認証材および管理原材料から作られています。  
 また、インクは一部に植物油を使用して揮発性有機化合物の発生を抑えた「VEGETABLE OIL INK」を使用し、有害廃液を排出しない「水なし印刷」を採用しています。



# コンテンツの未来へ、 つなげる、ひろげる。

コンテンツ業界に関わるすべての人たちへ  
VIPOは、「まなび」「つながり」の機会を提供し  
ビジネスの輪がひろがるよう、サポートしていきます。

## VIPOの 主な事業テーマ

## 人材育成

## 海外展開・市場開拓

ヴィーボ  
VIPOは日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004年に設立されたNPO法人です。  
〈人材育成〉〈海外展開・市場開拓〉の支援を中心に、様々な活動を通して、業界全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。

### ご挨拶

2023年度の年間活動報告をさせていただくにあたり、日頃の皆様のご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

業界の人材育成や海外展開の支援を目的とした、経済産業省および文化庁等からの受託事業の運営を引き続き進めて参りました。「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金(映像制作等支援)(JLOX)」では、新規に海外制作会社からのロケ誘致や国内映像制作のプロダクション・ポストプロダクションへの支援が加わり、映像産業にとって裨益となることを期して、事務局としての役割を務めて参りました。また、新規の自主事業として、「カンヌ国際映画祭」の独立部門である「監督週間」とコラボレーション契約を結び、「カンヌ監督週間 inTokio」を12月に渋谷にて開催し、上映会やトークイベント等を実施いたしました。

今年度も私たちVIPOは、常に先を見据え、コンテンツ業界のさらなる発展に向けて、より一層貢献できるよう取り組んで参ります。



理事長 松谷孝征



専務理事・事務局長 市井三衛

# INDEX

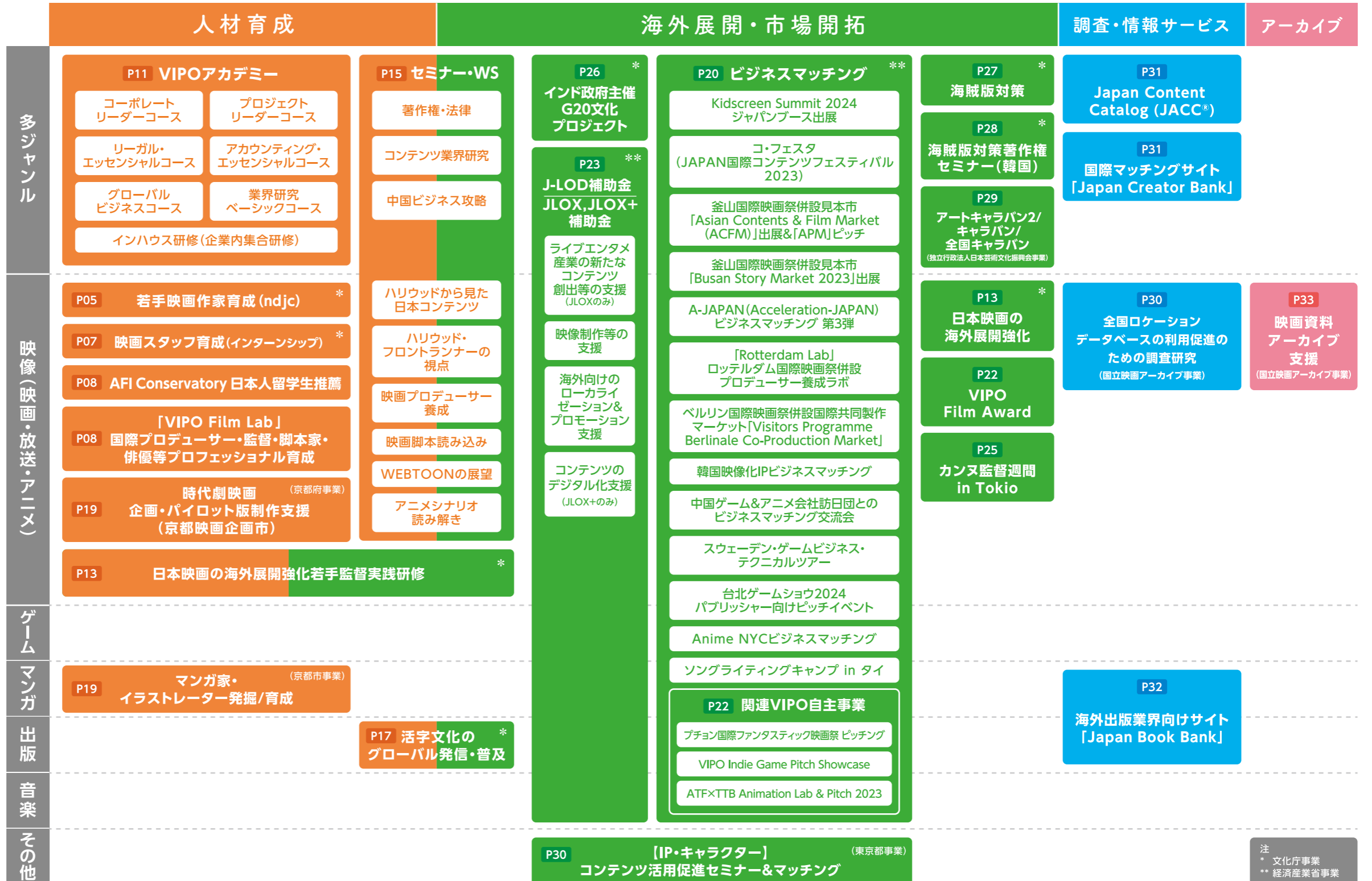
- P03-04** ・設立の経緯/組織図  
・VIPO事業マッピング
- P05-06** ・ndjc: 若手映画作家育成プロジェクト
- P07** ・映画スタッフ育成事業
- P08** ・AFI Conservatory日本人留学生推薦事業
- P08-10** ・VIPO Film Lab
- P11-12** ・VIPOアカデミー
- P13-14** ・日本映画の海外展開強化事業
- P15-16** ・コンテンツ業界向け  
セミナー&ワークショップ
- P17-18** ・活字文化の  
グローバル発信・普及事業
- P19** ・京都映画企画市  
・京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)  
2023
- P20-21** ・令和5年度 コンテンツ海外展開促進事業
- P22** ・VIPO Film Award事業  
・関連VIPO自主事業
- P23** ・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業  
費補助金 J-LOD  
・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費  
補助金(映像制作等支援) JLOX
- P24** ・我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ  
産業の海外展開促進事業費補助金(コン  
テンツ産業の海外展開等支援) JLOX+
- P25** ・カンヌ監督週間 in Tokio
- P26** ・インド政府主催「G20文化プロジェクト」
- P27** ・令和5年度 海賊版対策事業
- P28** ・令和5年度 海賊版対策事業  
著作権セミナー(韓国)
- P29** ・統括団体による文化芸術需要回復・地域  
活性化事業(アートキャラバン2)  
・令和5年度 文化芸術振興費補助金  
舞台芸術等総合支援事業(キャラバン)  
・令和6年度 文化芸術振興費補助金  
舞台芸術等総合支援事業(全国キャラバン)
- P30** ・東京都コンテンツ活用促進事業  
・全国ロケーションデータベースの利用促進  
のための調査研究
- P31** ・Japan Content Catalog(JACC®)  
・国際マッチングサイト  
「Japan Creator Bank」
- P32** ・海外向けオンライン出版コンテンツ  
カタログサイト「Japan Book Bank」
- P33** ・アーカイブ中核拠点形成モデル事業
- P34** ・VIPOインタビュー

- ……人材育成
- ……海外展開・市場開拓
- ……アーカイブ
- ……調査・情報サービス
- ……広報活動

## 設立の経緯

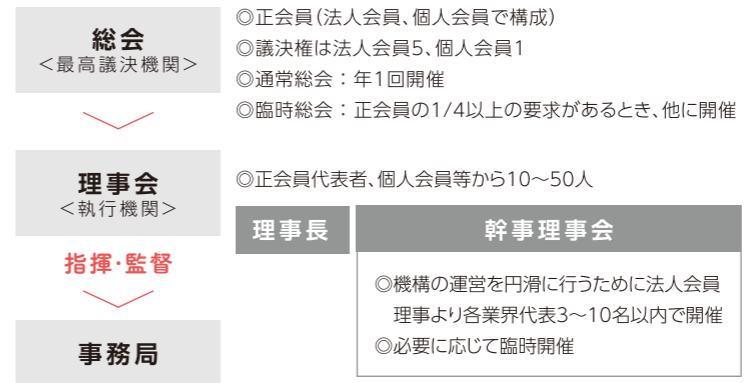
- 01** 2004年3月の日本経済団体連合会の提言「『知的財産推進計画』の改訂に向けて」において、映像産業全般の振興を推進する機関の設置を提言。
- 02** 政府「知的財産推進計画2004」(2004年5月27日・知的財産戦略本部決定)の中に、2004年度に「映像産業振興機関の設立」を支援することが明記。
- 03** 6月より経団連エンターテインメント・コンテンツ産業部会(人材育成分科会)で検討を開始するとともに、日本映画製作者連盟、日本民間放送連盟、日本動画協会等と連絡をとりつつ実務的検討を進める。また内閣官房知財推進本部、総務省、文部科学省、経済産業省、関係自治体とも調整。
- 04** 11月、映像産業関連事業者を中心とする設立準備委員会を立ち上げ、同機構の事業内容等について詳細を固めた上で12月6日に設立総会を開催。
- 05** その後直ちに内閣府にNPO法人の申請を行い、2005年5月、認証。

## VIPO事業マッピング(2024年度開始の新規事業含む)



注  
\* 文化庁事業  
\*\* 経済産業省事業

## 組織図



## 総会・理事会・幹事理事会 開催実績

※すべてオンラインを併用

- I.総会**
- ・令和5年6月29日(通常総会)
  - ・令和5年12月25日(臨時総会)

- II.理事会**
- ・令和5年6月9日
  - ・令和5年6月29日
  - ・令和5年12月8日

- III.幹事理事会**
- ・令和5年4月25日
  - ・令和5年6月9日
  - ・令和5年12月8日



ndjc  
NEW DIRECTIONS IN JAPANESE CINEMA

ndjc:若手映画作家  
育成プロジェクト

文化庁 委託事業

次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目的として文化庁よりVIPOが委託を受け実施しているプロジェクト

ndjc2023

33団体から54名の応募があり、一次選考を経て15作家がワークショップに参加しました。その中から選出された4作家が最終課題である製作実地研修に進み、脚本開発を経て短編映画を製作。完成作品は合評上映会で発表しました。多方面からいただく講評は作家の今後の活動に役立たせるべく、すべてをフィードバックします。これまでに完成したndjc作品と併せて、今後も引き続き発表の機会を提供していきます。

スーパーバイザー

西ヶ谷寿一氏(東京テアトル)

- 4月 作家公募  
・映画関係団体等から推薦を受けた作家から、ワークショップ参加作家を決定
- 5月
- 6月
- 7月 ワークショップ  
・編集講義、同一の課題・条件での5分間の短編制作、発表・講評
- 8月
- 9月 製作実地研修  
・25分以上30分以内の短編映画作品製作(脚本開発～撮影～仕上げ～完成)
- 10月
- 11月
- 12月 合評上映会・講評会  
・映画業界関係者、マスコミ等を対象とした合評上映会  
・プロジェクト検討委員・脚本指導講師による講評会  
・国内外の映画祭への出品、映画館での特集上映 他
- 1月
- 2月
- 3月



ndjc2023 製作実地研修参加作家と完成作品

『明るいニュース』



監督 城 真也

[作家推薦団体] PFF  
[制作プロダクション] オフィス・シロウス  
[出演] 篠原悠伸、安 亜希子、菊川実晴、伊藤佳範、鈴木晋介

2024年/ビスタ/30分/©2024 VIPO



『恋は真っ赤に燃えて』



監督 西口 洸

[作家推薦団体] 大阪芸術大学 映像学科  
[制作プロダクション] Lat-Lon(ラトロン)  
[出演] トロツキー・マックレンドン、高橋 翔、中島瑠菜、田中智也、板尾創路

2024年/ヨーロッパ/29分/©2024 VIPO



『光はどこにある』



監督 野田 麗未

[作家推薦団体] TMS東京映画映像学校  
[制作プロダクション] RIKIプロジェクト  
[出演] 円井わん、東 龍之介、霧島れいか、齋尾真知子

2024年/ビスタ/30分/©2024 VIPO



『勝手口の少女』



監督 山本十雄馬

[作家推薦団体] 映画美学校  
[制作プロダクション] 東映東京撮影所  
[出演] 斎藤汰鷹、石田莉子、山田浩市、黒沢あすか

2024年/スタンダード/30分/©2024 VIPO



(敬称略)

本事業発足から18年を経て85名が製作実地研修に進み、短編映画を製作ここから長編映画監督が続々と誕生!

文化庁の委託を受けて2006年度よりスタートした「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するためのワークショップや製作実地研修を実施するとともに、作品発表の場を提供することで次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。若手映画作家にとっては、プロのスタッフ指導のもとオリジナル脚本の短編映画を製作す

るチャンスとなり、完成作品は映画業界関係者・マスコミ等に向けた合評上映会や、国内外の映画祭への出品、映画館での特集上映を通して広く発表する機会となっています。また「長編映画の企画・脚本開発サポート」では、現役映画プロデューサー、映画監督、脚本家を講師に迎え、才能ある若手作家に対してオリジナル長編作品の企画・脚本開発およびパイロット映像制作のサポートを行いました。

長編映画の企画・脚本開発サポート

プロジェクト概要

オリジナル映画の企画書・脚本を公募し、選考委員による一次選考にて12名を選出。選出された作家は、山本晃久プロデューサーによる講義にて商業長編映画作品を製作するにあたり必要な知識や考え方を学び、最終選考に向けて企画書をブラッシュアップしました(任意で脚本も改稿)。あわせて面接も行い、研修参加作家2名を決定しました。2名の作家は、講師による指導のもとで企画・脚本開発、パイロット映像の制作に取り組み、開発された脚本とパイロット映像をもって映画製作者に向けたプレゼンテーションを行いました。



企画・脚本開発

講師

山本晃久氏(プロデューサー) / 田中幸子氏(脚本家) / 大江崇允氏(映画監督・脚本家)

スケジュール

- 5月 募集開始
- 6月
- 7月 募集締切
- 8月 一次選考
- 9月 講義
- 10月 最終選考
- 11月
- 12月 企画・脚本開発、パイロット映像制作
- 1月
- 2月 初稿・パイロット映像完成、プレゼンテーション
- 3月

研修参加作家



保谷聖耀監督  
『カサギ山炭鉱の軌跡』



パイロット映像制作



小宮山菜子監督  
『街に溶ける』



プレゼンテーション



出身監督の主な活躍 / 近年の劇場公開作品(未公開含)

- |  |   |
|--|---|
| ndjc2006 佐藤克則監督…『30S』(23)                          | ndjc2014 草刈 勲監督…『死体の人』(23)                |
| ndjc2006 真田幹也監督…『ミドリムシの姫』(22)/『尾かしら付き。』(23)        | ndjc2014 吉野耕平監督…『ハケンアニメ!』(22)/『沈黙の艦隊』(23) |
| ndjc2006 児玉徹郎監督…『ドラゴンボール超(スーパー) スーパーヒーロー』(22)      | ndjc2015 ふくだももこ監督…『炎上する君』(23)             |
| ndjc2010 松永大司監督…『Pure Japanese』(22)/『エゴイスト』(23)    | ndjc2018 眞田康平監督…『ピストルライターの撃ち方』(23)        |
| ndjc2010 三宅伸行監督…『世の中にたえて桜のなかりせば』(22)               | ndjc2019 山中瑤子監督…『ナミビアの砂漠』(24)             |
| ndjc2011 藤澤浩和監督…『ツアーアウトフルベース』(22)                  | ndjc2021 藤田直哉監督…『臉の転校生』(24)               |
| ndjc2012 庄司輝秋監督…『さよなら ほやマン』(23)                    | ndjc2021 道本咲希監督…『ほなまた明日』(24)              |
| ndjc2012 鈴木研一郎監督…『劇場版Re: STARS ~未来へ繋ぐ2つのきらぼし~』(23) |   |

## 映画スタッフ育成事業

文化庁 委託事業



映画スタッフを目指す学生に、実際の映画制作現場での実習を通して、現場での初歩的な知識と技術を習得させることを目的とした人材育成事業です。学生/学校/制作プロダクションと連携して、学校の授業だけでは習得、体験することができない、プロの制作現場において必要とされる知識、技術、スタッフ間でのコミュニケーション能力等を身につけ、卒業後に映画の制作現場で活躍できるスタッフを持続的に育成することを目指しています。

2018年度から6年間、当機構が事務局を運営しています。映画学科や映像系学科等がある大学/専門学校等を中心に一般大学、美術大学、服飾美容系専門学校も含めて募集を行い、2023年度は46人の学生が実写劇映画19作品の撮影現場にてインターン実習を経験しました。実習後に実施したアンケートでは制作会社/学生の両者から満足度と有益度が高い評価を得ました。[学生:有益度98%、制作会社:次の現場でも学生を受け入れたい98%]

### 実習職種

演出/撮影/照明/録音/制作/プロデューサー/美術/装飾/衣裳/ヘアメイク

### 実習生の声

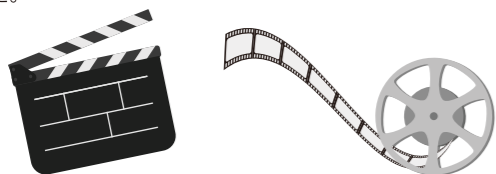
- 実際の撮影現場に参加した事で、より具体的に全体の流れや、動き方を知ることができた。
- ネットで調べてもいまいひとつ分からなかった具体的な仕事内容についてたくさんお話を伺えたことが一番の収穫。
- 将来のビジョンが明確に見えてきた。
- 将来につながる素敵な出会いを沢山させていただいた。
- 様々な大変さを感じながらも迎えたクランクアップ時の感動はいつまでも忘れずにいたい。

### 学校関係者の声

- 現場での動き方や、やりがい、充実度など授業では得られないことを多く学んできた。
- スタッフやキャストの方の仕事に対する情熱に感銘を受け、人間的にも成長できた。
- 卒業後の進路について相談に乗っていただいた。
- 現場の技師さんに次の現場もお誘いいただき、つながりを作ることができた。

### 製作現場の声

- 現場で学べる事があるので、学校は現場にどんどん生徒を送り込んでほしい。
- インターンが来てくれて、撮影現場に新鮮な感覚を吹き込んでくれた。
- 他部署との交流も積極的に図ったようで、今後自分が目指していくクリエイターとしての基礎が作れたのではないかと。
- 目に見えている撮影現場以外の部分を知れたのは大きな成果なのではと思う。
- 終盤は顔つきが変わってきて、立派にスタッフの一員になっていた。



### 2018年～2023年度 実習105作品

メジャースタジオ作品からインディペンデント系まで、米・第96回アカデミー賞視覚効果賞を受賞した『ゴジラ-1.0』ほか日本アカデミー賞受賞作品や海外映画祭出品作まで多様な現場で実習。

### 2024年5月以降 公開予定作品

『鬼平犯科帳 血闘』山下智彦監督 / 『暮盤斬り』白石和彌監督 / 『ミッシング』吉田恵輔監督 / 『ディア・ファミリー』月川 翔監督 / 『もしも徳川家康が総理大臣になったら』武内英樹監督 / 『スオミの話をしよう』三谷幸喜監督 / 『シサム』中尾浩之監督 / 『箱男』石井岳龍監督 / 『室町無頼』入江 悠監督 / 『雪の花—ともに在りて—』小泉堯史監督 / 『君の忘れ方』作道 雄監督 / 『35年目のラブレター』塚本連平監督 / 『BAUS 映画から船出した映画館』榎木元(ほきもと)空監督 等

### 公開済作品 一部

#### 【大型エンタメ作品】

『ゴジラ-1.0』山崎 貴監督 / 『男はつらいよ お帰り 寅さん』山田洋次監督 / 『記憶にございません!』三谷幸喜監督 / 『シン・ウルトラマン』樋口真嗣監督 / 『シン・仮面ライダー』庵野秀明監督 / 『ザ・ファブル 殺さない殺し屋』江口カン監督 / 『そして、バトンは渡された』前田 哲監督 / 『飛んで埼玉 ～琵琶湖より愛をこめて～』武内英樹監督 / 『ハケンアニメ!』吉野耕平監督 / 『ブレイブ・群青戦記-』本広克行監督 / 『マスカレード・ナイト』鈴木雅之監督 / 『ラゲリより愛を込めて』瀬々敬久監督

#### 【インディペンデント系作品】

『ある船頭の話』オダギリジョー監督 / 『Winnie』松本優作監督 / 『エゴイスト』松永大司監督 / 『殺さない彼と死なない彼女』小林啓一監督 / 『最後まで行く』藤井道人監督 / 『さかなのこ』沖田修一監督 / 『月』石井裕也監督 / 『罪と悪』齋藤勇起監督 / 『よこがわ』深田晃司監督 等

### 学生向けオンラインセミナー全2回

撮影現場での実習と学校での授業を補完し、学生がより広く深く理解するために、映画業界の第一線で活躍するプロフェッショナルを講師に迎え、基本的な映画製作の流れと、撮影現場での職種と業務内容を講義しました。地方の学生も参加できるようオンラインで開催。リピーター受講者もあり、1回目のセミナー受講後のアンケートでは、93%の学生から「映画業界に進みたくなった」と高評価を得ました。

### 『映画撮影現場スタッフの仕事』

#### ① 入門編～映画製作の流れ

2024年1月30日 参加51名  
講師:横山蘭平プロデューサー、松村龍一プロデューサー

#### ② 演出部編

2024年2月9日 参加32名  
講師:中川和博監督

## AFI Conservatory 日本人留学生 推薦事業

自主事業

将来の映像産業を担うプロフェッショナルの発掘と育成を目指すとともに、日本の映画企画や若手クリエイターが世界に出ていく仕組みを構築することを目的とし、AFI(American Film Institute)Conservatoryへ留学を希望する日本人の推薦活動を行っています。2023年度は2024年秋学期に志願を予定する日本人留学生を対象に、推薦学生を募集いたしました。



### AFIとは

米国の国家的な機関として、映像教育でのリーダーシップを発揮し、映画、テレビ、デジタルメディアといった芸術分野において、その存在価値と卓越性が高く評価されています。AFIの教育機関であるAFI Conservatoryでは、撮影監督/監督/編集/プロデューサー/美術/脚本家のプロを育てるために制作実践、現場主義を基本とし、映画やテレビの世界からの実務プロフェッショナルで組織された指導者陣が教鞭をとっています。

## VIPO Film Lab

自主事業



グローバルな視野を持ち国内外で活躍できるプロデューサー、監督、脚本家など業界プロフェッショナルを育成する場、それが「VIPO Film Lab」です。実践トレーニング、ワークショップ、オンライン講座など、目的別に様々な人材トレーニング等を行っています。

### 1. 脚本コース@ウディネ

今回で2度目の実施となる本コースでは、2022年度に続き脚本コースの参加者と共に、今年からは「ファーイースト映画祭」にて同時開催されているFOCUS ASIAの企画マーケット「ALL GENRES PROJECT MARKET」およびワーク・イン・プログレス部門「FAR EAST IN PROGRESS」への参加者も募集し、実施しました。

【開催期間】2023年4月26日～28日(3日間)

【参加プロデューサー/企画名等】

- 脚本コース  
小山内照太郎氏(Survivance)
- Focus Asia「ALL GENRES PROJECT MARKET」部門  
鈴木徳至プロデューサー(コギトワークス)『レンズの下の聖徳太子』(同行者:小林達夫監督、朱永菁プロデューサー)
- Focus Asia「FAR EAST IN PROGRESS」部門  
後藤美波氏(Cobalt Pictures)『Blue Imagine』



## 2. 国際プロデューサーコース

国際的に活躍する若手プロデューサー育成のため、国内外の経験豊富な業界エキスパートや現役で活躍するプレイヤーを講師陣に迎え、即実践で活用できる基本的な知識やテクニックを身につけることを目指し開催しました。

【開催期間】2023年8月～12月(全10回)

【講義内容と講師】

- 「映画祭とは、映画祭の活用方法」  
長谷川敏行氏  
(SKIPシティ国際Dシネマ映画祭プログラミング・ディレクター)
- 「国際共同製作『PLAN 75』ケーススタディ」  
水野詠子氏(プロデューサー)
- 「海外PRの役割」  
高松美由紀氏(フリーストーンプロダクションズ代表)
- 「国際共同製作のケーススタディ『Tiger Stripes』」  
Fei Ling Foo氏(プロデューサー)
- 「セールスエージェントの役割」  
Gabor Greiner氏(Films Boutique)
- 「国際映画製作のケーススタディ」  
福岡美由紀氏(分福プロデューサー)
- 「脚本分析：『ドライブ・マイ・カー』」  
Clare Downs氏(EAVE スクリプト・アドバイザー)
- 「海外向け企画ピッチングについて」  
Shrihari Sathe氏(映画プロデューサー、コロンビア大学講師)
- 「国際ワークショップにおけるピッチング」  
Olivier Péré氏(ARTE France)
- 「アジアの国際共同製作支援について」  
KOFIC、Busan IFF/APM、Create Hong Kong、TAICCA、FDCP、Dana Indonesiana fund担当者



## 3. 映画の企画脚本講座

あたためているオリジナル企画案を映画化するまでいかに具現化していくか。講座を通してシナリオの幹となるものをつくり、ブラッシュアップしていきました。

【開催期間】2023年7月11日、12日(2日間)

【講師】加藤正人氏  
(脚本家 映画『クライマーズ・ハイ』、『凧待ち』)

【参加者】脚本家、映画プロデューサー、映像制作に携わる12名



## 4. Spotlight Asia

2023年にスタートしたカンヌマーケットMarche du Film(主催)とウディネのTTB/Focus Asia(共催)によるアジアとアジア以外の国際共同製作を推進する新しいプログラム。約30カ国から120名以上のポテンシャルを持つアジアとアジア以外のプロデューサーが一堂に会し、国際共同製作に必要な各国の助成金制度を共有するセッションやトークイベントを実施。日本からは4名のプロデューサーが参加しました。

【開催期間】2023年5月20日～5月21日  
(マーケット期間中の2日間)

【参加者】鈴木徳至氏、山下貴裕氏、今井太郎氏、村上知穂氏



## 5. 俳優コース

将来の映像産業を担う俳優の発掘と育成を目指し、第一線で活躍する映画監督による俳優養成の2日間集中講座を開催。俳優ひとりひとりに直接演技指導を行い、参加者からは有益度100%という満足度の高いアンケート結果が得られました。

【開催期間】2023年11月21日、28日(2日間)

【講師】犬童一心監督

【参加者】俳優18名

## 6. 監督コース

フランス国立映画学校(FEMIS)をはじめ世界中で教鞭をとるプリス・コヴァン氏を講師に招き、世界基準の映画表現や専門知識をワークショップ形式でレクチャー。日本の教育現場ではなかなか触れられない実践的かつロジカルな指導は、撮影現場でも即座に且つ大いに活かすことができると、参加者からは大変好評を博しました。

【開催期間】2023年11月13日～11月17日(5日間)

初日：演出についての講義

2日目～5日目：出演者と脚本の検討と打ち合わせ・撮影実習・ラッシュ講評

【講師】プリス・コヴァン氏

【参加者】坂本悠花里監督、藤田直哉監督、飯塚花笑監督、中田雄一郎監督



## 7. 映画の企画開発講座

映画の企画を作成することに主眼を置いた講座をリアル開催しました。選考された10名の受講者が自分の企画をどのような作品にしたいかを提案し、講師からの講評・アドバイスでブラッシュアップしました。

【開催期間】2024年2月26日、27日(2日間)

【講師】池端俊策氏(脚本家)、  
米倉リエナ氏(演出家、演技講師)

【モデレーター】篠原 圭氏(NHKエンタープライズ)

## 8. First Cut Lab Japan

ヨーロッパを拠点に2015年から始まった世界中のプロフェッショナルな映画人および長編映画の「編集」ステージにフォーカス・デザインした包括的な編集トレーニングとコンサルテーションを合わせたオンライン編集ワークショップ「First Cut Lab」の日本版を初めて実施。編集段階にある企画をサポートし、さらなる編集に向けての指針となるレポートとロードマップを提供しました。

【開催期間】2023年12月～2024年1月

【参加企画】2企画



## 9. NYオンライン脚本ワークショップ

コロンビア大学スクール・オブ・アーツの脚本講師や映画プロデューサーらを迎え、オンラインでの脚本および個別指導による集中的な脚本指導を行いました。研修者の脚本へのフィードバック指導を通して脚本のさらなるブラッシュアップを図り、脚本の映画化を目的とした実践的な内容を提供しました。

【開催期間】2023年11月～2024年2月

【参加者】小林達夫監督、中川奈月監督





## ビジネススキルの習得だけでなく ジャンルを超えてともに学んだ受講者によるネットワークは 新しいビジネスへのきっかけになっています

VIPOアカデミーは2015年度にスタートしたコンテンツ業界のリーダー育成を目的とした人材育成事業で業界向けにカスタマイズしたプログラムを実施しています。経営幹部人材を育成する「コーポレートリーダーコース」と、現場のマネジメント力を強化する「プロジェクトリーダーコース」は、スキルアップや受講者同士のネットワーク構築に加え、企業間のコラボレーションのきっかけの場になりました。また、グローバルシーンでのコミュニケーション力を磨く「グローバルビジ

ネスコース」、法律や会計の知識を学ぶ「リーガル・エッセンシャルコース」「アカウンティング・エッセンシャルコース」、コンテンツ業界各ジャンルの基礎的な知識を横断的に習得できる「業界研究ベーシックコース」など、現在、全6コースを開講しています。2023年度も春期・秋期・冬期の全コースを、オンライン開催を中心に、一部リアル開催を含めながら実施いたしました。延べ38社127名に受講いただき、これまでの累計は149社921名となりました。

### 公開コース以外に企業内集合研修（インハウス研修）を提供

企業のニーズに合わせた企業内集合研修（インハウス研修）も実施しています。2023年度は「リーガル研修（基礎編）」「セールスピッチ研修」「デジタルマーケティング研修」を実施しました。企業のニーズに合わせて研修内容をカスタマイズした派遣型インハウス研修を最短半日より実施することが可能です。（オンライン開講も可能）

インハウス研修の詳細はVIPOアカデミーの公式サイトをご覧ください。 [https://vipo-academy.jp/in-house\\_training/](https://vipo-academy.jp/in-house_training/)

実施実績		
リーダーシップ系プログラム	リーダーシップ研修	キャラクター業界、音楽業界ほか
	ビジネスプランニング研修	映画業界
思考系プログラム	ロジカルシンキング研修	音楽業界
	マーケティング研修	ゲーム業界
その他のプログラム	英文ビジネスライティング研修	映画業界
	セールスピッチ研修	テレビ業界
	リーガル知識研修	映画業界、広告業界
	リーガル研修<基礎編>	キャラクター業界
	ファイナンス・エッセンシャル研修	音楽業界
	CS向上研修	映像業界

VIPOアカデミーの公式サイトでは、企業内集合研修や各コースに関する詳しい情報に加え、人材育成に役立つ情報等を発信しています。

「VIPOアカデミー」の公式サイトURL  
<https://vipo-academy.jp/>

「VIPOアカデミー」の公式X  
[https://twitter.com/VIPO\\_ACADEMY](https://twitter.com/VIPO_ACADEMY)



## 2023年度開講内容

### コーポレートリーダーコース (管理職向け)

講義と演習、グループ活動を通して、経営戦略、ビジネスアカウンティング、ビジネスプランニング、プレゼンテーション、リーダーシップの知識やノウハウを身につけることで、企業の成長・発展に貢献するコーポレートリーダー（経営幹部人材）を育成します。

第17期  
2023年5月13日～8月3日 フォローアップ2024年2月1日  
第18期  
2023年9月9日～11月30日 フォローアップ2024年5月30日

### プロジェクトリーダーコース (中堅社員向け)

講義と演習、グループ活動を通して、企画力(ロジカルシンキング、ビジネスアカウンティング、発想力)と推進力(プロジェクトマネジメント、リーダーシップ、プレゼンテーション)を強化することで、クオリティとスピードを両立させ、周囲を巻き込んでプロジェクトを成功に導くプロジェクトリーダーを育成します。

第15期  
2023年5月20日～8月1日 フォローアップ2024年2月6日  
第16期  
2023年 9月16日～12月5日 フォローアップ2024年6月4日

### 経営者講演会

コーポレートリーダーコース、プロジェクトリーダーコース受講生向けの特別講演会を実施しました。



登壇者 辻 朋邦氏  
株式会社サンリオ 代表取締役社長

<2023年春期>  
「みんななかよく」に  
込められた思いと、  
「第二の創業」として  
経営に挑んだサン  
リオの未来とは



登壇者 松岡宏泰氏  
東宝株式会社 代表取締役社長

<2023年秋期>  
創立100周年にむけた  
「TOHO VISION 2032」  
とは～Entertainment  
for YOU世界中のお客  
様に感動を～

### 最終発表審査会/成果発表会



2019年最終発表審査会  
※2023年はオンラインで  
実施しました。

コーポレートリーダーコースおよびプロジェクトリーダーコースでは、コース最終日に業界各社の経営層から受講者の上司、政府関係者まで、多くの方にお集まりいただき、受講者から学びの成果を発表しました。

### リーガル・エッセンシャルコース<基礎編> (契約や知的財産法についての基本的な知識を身につけたい方、 法務部門における経験が1年程度の方向け)

法律の枠組みや法的考え方の基本、著作権や商標を中心とした映像コンテンツビジネスにまつわる知的財産権制度の概要、契約締結交渉時の勘所などの基礎を身につけます。

基礎編 第2期 2023年9月26日～10月10日  
第3期 2024年1月30日～2月13日

### <実践編>

(契約や知的財産法についての基本的な理解がある方、  
法務部門所属または契約実務者としての経験が1年以上の方向け)

コンテンツビジネスにまつわる契約実務について、各回の前半は講義により知識を整理し、後半は模擬事例をもとにしたグループディスカッションを行うことで、実践に役立つ考え方を身につけます。

実践編 第2期 2023年10月24日～11月14日

### アカウンティング・エッセンシャルコース<財務会計編> (財務会計の基本的な知識を身につけたい方、 経理財務部門に所属の場合は経験が1年程度の方)

会計用語や仕訳手順などを覚えることよりも、何のために会計があるのかなどの財務会計の基本をコンテンツビジネスの事例を用いた講義や演習(グループディスカッション)を通して身につけます。

財務会計編 第2期 2023年6月15日～6月22日  
第3期 2024年2月15日～2月22日

### <管理会計編>

(財務会計や財務諸表についての基本的な理解がある方、  
経理財務部門に所属の場合は経験が1年程度の方)

プロジェクト原価計算や損益分岐点分析、新規事業計画の知識など管理会計の基礎となる考え方をコンテンツビジネスの事例に基づいて、身につけるとともに演習(グループディスカッション)を通じて、業界特有の課題について理解することができます。

管理会計編 第2期 2023年7月6日～7月13日  
第3期 2024年3月7日～3月14日

### グローバルビジネスコース<プレゼンテーション編> (海外とコミュニケーションを行う方向け)

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、ビジネスシーンで日常的に行われている様々なプレゼンテーション(ビジネスプレゼン、セールスピッチ、取引先との交渉、上司・同僚への提案など)において、自信を持って効果的に自身の考えやメッセージを伝えるスキルと知識を学びます。

プレゼンテーション編 第11期 2023年11月8日～12月6日

### <交渉・コミュニケーション編>

実践を重視した講義(英語・日本語)と英語での演習を通して、グローバルなビジネスシーンにおけるコミュニケーション力と交渉力を強化する。効果的な表現方法や有効な分析ツールを学び、ロールプレイとフィードバックを通じて、実践力の向上を目指します。

交渉・コミュニケーション編 第12期 2024年2月8日～3月7日

### 業界研究ベーシックコース (コンテンツ業界各ジャンルの基礎知識を習得したい方向け)

ジャンルを超えたコンテンツビジネスを生み出すために、コンテンツ業界の各ジャンル(キャラクター・ゲーム・出版・アニメ・映画・テレビ・音楽)のマーケットやビジネスモデルを理解し、それぞれの展開事例(主にジャンルを超えた展開事例および海外展開事例)を学びます。

第11期 2024年1月17日～3月6日

# 日本映画の海外展開強化事業

文化庁 委託事業

海外における  
日本映画の上映機会創出と  
海外展開を強化する事業

## 1. 日本映画の特集上映の実施

新作からクラシックまでテーマに沿った10作品を上映  
中野量太監督特集では3作品を上映、トークイベントも実施

ニューヨークで現地パートナーであるジャパン・ソサエティー(JS)と共に日本映画の特集上映を実施しました。

- 実施期間: 2024年2月15日~24日のうち7日間
- 上映会場: ジャパン・ソサエティー オーディトリウム(NYマンハッタン) 座席数: 260席
- 上映テーマ:

Family Portrait: Japanese Family in Flux  
~家族の肖像: 変わりゆく日本の家族のかたち~

- 『歩いて、歩いて』 枝裕和監督
- 『バカ塗りの娘』 鶴岡慧子監督
- 『泥の河』 小栗康平監督
- 『東京暮色』 小津安二郎監督
- 『さよなら、ほやマン』 庄司輝秋監督
- 『トウキョウソナタ』 黒沢 清監督
- 『658km、陽子の旅』 熊切和嘉監督

### ●中野量太監督特集

- 『湯を沸かすほどの熱い愛』 中野量太監督
- 『長いお別れ』 中野量太監督
- 『浅田家!』 中野量太監督
- 計10作品

- 参加者: 一般観客向け(一部業界関係者等の招待有)

### ●上映後のトークイベント:

- 2024年2月23日『湯を沸かすほどの熱い愛』  
登壇者: 中野量太監督、  
トム・ルーザー准教授  
(ニューヨーク大学文化人類学、日本研究)
- 2024年2月24日『長いお別れ』『浅田家!』  
登壇者: 中野量太監督、  
ポール・アンドラー名誉教授  
(コロンビア大学日本文学、日本映画研究)、  
角田拓也助教授(コロンビア大学日本映画研究)



JSはNY中心部に所在



『歩いて、歩いて』  
©2008 "Still Walking" Production Committee



『バカ塗りの娘』  
©2023 "Tsugaru Lacquer Girl" Film Partners



『東京暮色』  
©1957/2017 Shochiku Co., Ltd.



『さよなら、ほやマン』  
©2023 SIGLO / OFFICE SHIROUS / Rooftop / LONGRIDE



『湯を沸かすほどの熱い愛』  
©2016 "Her Love Boils Bathwater" Film Partners



『浅田家!』  
©2020 "The Asadas" Production Committee



## 2. 映画業界人向け日本映画上映会の実施

ロサンゼルスでプレスを中心とした映画業界人向けの日本映画上映会を実施

- 実施期間: 2023年9月26日~9月28日 3日間
- 上映会場: Linwood Dunn Theater(ハリウッド地区) 座席数: 286席
- 上映作品: 3作品  
『658km、陽子の旅』 熊切和嘉監督  
『波紋』 荻上直子監督  
『茶飲友達』 外山文治監督
- 参加者: 米国在住の各映画賞の投票権を持つ業界関係者およびプレス関係者等



映画芸術科学アカデミーが持つ劇場



『658km、陽子の旅』  
©2022 "YOKO" FILM PARTNERS



『波紋』  
©2022 "RIPPLES" Film Partners



『茶飲友達』  
©2022 "TEA FRIENDS" Film Partners

各作品上映後にトークイベントを実施  
熊切和嘉監督が登壇

- 2023年9月26日『658km、陽子の旅』  
登壇者: 熊切和嘉監督  
Steve Ponde氏(The Wrap-Executive Editor)  
David Neptune氏(通訳)  
当日の会場はほぼ満席で、作品を観終わった後の熱気と興奮に溢れたトークイベントとなりました。



2023年9月26日  
『658km、陽子の旅』 熊切和嘉監督



2023年9月27日  
『波紋』 荻上直子監督 ※オンライン登壇

全米トップ4のフィルムスクールを訪問

- 2023年9月25日 Chapman大学にて  
『658km、陽子の旅』 熊切和嘉監督との交流  
大学側講師: オブリー・タン氏  
※The Hollywood Reporter紙における全米トップフィルムスクールランキングにおいて第4位の大学を訪問し、映画を学ぶ学生達の講義へゲストとして参加、交流を行いました。



2023年9月28日  
『茶飲友達』 外山文治監督 ※オンライン登壇



2023年9月25日  
チャップマン大学訪問

## 3. カンヌ映画祭での上映会広報活動を実施

アメリカの業界関係者が多く集まるカンヌ映画祭で上映会実施のための広報を実施。パネル・ディスカッションで広く日本映画の魅力を伝える宣伝を行い、重要な参加者には個別ミーティングも実施しました。

パネル・ディスカッション

「Potentiality of the Japanese Films in the US — Case Study of PLAN 75『PLAN 75』を通して考える日本映画の可能性」

- 実施日時: 2023年5月19日 16:00~17:00
- 登壇者: Mika Kimoto氏(KimStim『PLAN 75』北米配給会社)  
Harris Dew氏(Senior Vice President & General Manager, IFC Center, NY)  
水野詠子氏(Loaded Films『PLAN 75』プロデューサー)  
矢田部吉彦氏(元東京国際映画祭プログラミング・ディレクター)





## コンテンツ業界向け セミナー&ワークショップ

自主事業

コンテンツ業界向けに特化した人材育成を  
メインにセミナーやワークショップを開催

### セミナー 福井健策弁護士 コンテンツ法律セミナー

#### 第15弾 「コンテンツ業界人が知っておきたい AIビジネスの権利問題」

世界的規模で従来のビジネスモデルが覆るような衝撃と圧倒的な利便性が生まれる一方、AIへの懸念・反発も起きています。本講座では生成系AI について理解し、権利課題や今後の展望について学びました。

#### 第16弾 「いま知っておきたい、日本原作の海外ライセンス攻略法2023」

ー対ハリウッド・プラットフォーム契約を中心にー

いま日本のIPを海外へライセンスする法務的な知識はますます重要になっています。講座ではハリウッド・プラットフォーム契約の特徴を理解し、交渉にあたっての留意点を確認しました。また契約相手との攻防のポイントをアップデートされた具体的な事例を紹介しつつ解説しました。

開催日 2023年5月19日、12月14日 リアル開催

講師 福井健策氏(弁護士[日本・ニューヨーク州]/日本大学芸術学部・神戸大学大学院・iUほか客員教授)



福井健策氏

### セミナー 「韓国WEBTOON(ウェブトゥーン)スタジオとの共同制作で得た経験と日本WEBTOON全体の展望」セミナー

第一部では、日韓で複数のWEBTOONを共同制作し作品を公開しているフーモア社の創業者の視点から、日本との制作の違いや得た経験をお話いただきました。第二部では、出版社、ゲーム会社、ベンチャー企業、韓国企業、大手企業など多業種が参入する日本WEBTOONの将来の展望や可能性、今日日本に求められていること等をわかりやすく解説いただき、「今後のビジネスの参考になりたい」など好意的なご意見を多くいただきました。

開催日 2023年7月25日 オンライン開催

講師 芝辻幹也氏(株式会社フーモア 代表取締役社長)

### セミナー&ワークショップ 「アニメ制作スタッフのためのシナリオ読み解き方講座」

アニメ制作において、シナリオを読むことが必須の制作者へ向けた講座を開催しました。シナリオライターとどのようなコミュニケーションをとってシナリオ会議を円滑にし、脚本をブラッシュアップしていくのか、「打ち合わせの技術」と「脚本の基礎」を学び、グループワークによって実践形式でプレストしました。

開催日 2023年8月30日、9月6日(2日間) リアル開催

講師 小林雄次氏(脚本家・小説家)



小林雄次氏

### セミナー 『ジョン・ウィック:コンセクエンス』チャド・スタエルスキ監督セミナー 「ハリウッドが“見たい”日本の魅力、日本コンテンツのソフトパワーの正体とは？」

『ジョン・ウィック:コンセクエンス』の監督であるチャド・スタエルスキ氏を迎え、ハリウッドから見た日本コンテンツの魅力についてお話いただくセミナーを開催しました。本セミナーでは、黒澤明監督の映画や『攻殻機動隊』、『AKIRA』などの日本のアニメーションからも大きな影響を受けたと語るチャド・スタエルスキ監督が、侍映画や武士道をはじめ、日本文化や日本の精神がいかに魅力的なキャラクターを作り出す源泉となっているか、また、日本のアニメや漫画のストーリー構成の特異性など、スタエルスキ監督ならではの視点から、ハリウッドでのエンターテインメント制作の最前線についてお話しされました。

開催日 2023年9月12日

開催場所 東京ミッドタウン日比谷(日比谷三井タワー9階 カンファレンス「ROOM6」)

登壇者 チャド・スタエルスキ監督(『ジョン・ウィック:コンセクエンス』)



### セミナー 城西国際大学 業界研究セミナー

今年5回目となる城西国際大学の学生向けの業界紹介セミナーでは、コンテンツ業界を中心とした各登壇企業から、それぞれの業界の概要や各企業における業務内容について説明いただきました。事前に学生から募集した質問に回答する質疑応答の時間も設け、学生の就職活動において有意義な機会となりました。

開催概要 2023年10月28日

第1部 13:30-14:30 舞台・ステージ制作 / 登壇企業: ①株式会社S-SIZE ②松竹株式会社

第2部 15:00-16:00 芸能プロダクション / 登壇企業: ①GATE株式会社 ②ビクターミュージックアーツ株式会社

2023年11月25日

第1部 13:30-14:30 広告・プロモーション / 登壇企業: ①株式会社アイズ ②株式会社博報堂

第2部 15:00-16:00 映像・アニメ制作 / 登壇企業: ①株式会社ABCアニメーション ②株式会社ピクス

### セミナー 映画プロデューサー養成講座 基礎編 第8弾

「映画」を題材に映像コンテンツ制作に必要なプロデュースの基礎知識を集中的に学びました。プロデューサーに求められる広義の知識を体系立てて学べる本講座では「脚本」に重点を置いており、受講者は、読む力、書く力を養うためのノウハウを中心に学びました。2日目の後半では、吉野耕平監督と安藤講師との対談形式のセッションを行い、映画監督とプロデューサーの向き合い方などリアルなお話をいただきました。

開催日 2023年12月6日、7日(2日間) リアル開催

講師 安藤紘平氏(映画監督 早稲田大学名誉教授)

ゲスト 吉野耕平氏(映画監督『ハケンアニメ』、『沈黙の艦隊』)



吉野耕平氏

安藤紘平氏

### セミナー 中国ビジネス攻略セミナー

中国におけるエンターテインメント・コンテンツビジネスの状況は、コロナ禍とインターネット上のコンテンツ事前検閲制度の強化により、環境が大きく変化しました。現在、コロナ禍を経て活況を呈する中国国内リアルイベントや、日本IPをメインに取り扱った商業施設の増加、商品化市場の拡大などの最新情報と共に、環境変化に対応する柔軟なビジネスモデルの重要性について紹介頂きました。

ビジネス編: 「中国コンテンツ市場の最新概況」や「中国におけるファンコミュニティ作りの重要性とその方法」

法務編: 「中国コンテンツ関係法規制概要および最新動向」【典型契約締結時の注意点、日中間での契約の考え方の違い】など。

開催日 ①ビジネス編: 2024年3月18日 ②法務編: 2024年3月19日 オンライン開催

講師 分部悠介氏(弁護士、弁理士、IP FORWARDグループ総代表/CEO)



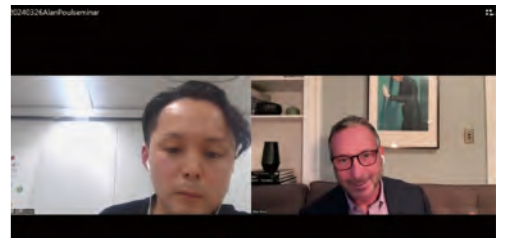
分部悠介氏

### セミナー 『TOKYO VICE』アラン・プール氏 「ハリウッド・フロントランナーの視点」セミナー

『TOKYO VICE』シリーズのエグゼクティブ・プロデューサーで監督でもあるアラン・プール氏を講師に迎え、「ハリウッド・フロントランナーの視点」と題したオンラインセミナーを実施しました。本セミナーは、2022年度に実施し好評だった『SHOGUN』のジャスティン・マークス氏による「ショーランナーセミナー」と、2023年9月に実施した『ジョン・ウィック』シリーズのチャド・スタエルスキ監督によるセミナー「ハリウッドが“見たい”日本の魅力、日本コンテンツのソフトパワーの正体とは？」に続く第3弾として開催。アラン・プール氏は、リドリー・スコット監督の『ブラック・レイン』でアソシエイト・プロデューサーとして日本で映画製作のキャリアをスタートし、その後ハリウッドで様々な映画やテレビ・配信シリーズで活躍された後、再び日本で『TOKYO VICE』の製作に携わられました。その経験に基づいて、日本を正確に描くことへのこだわりと、番組をヒット作に導くためのアメリカのスタジオ側の工夫との兼ね合い等、日本とアメリカ両方の文化背景や番組製作手法を踏まえた製作秘話、ショーランナーシステムやライターズルーム等のハリウッドでのテレビ・配信シリーズの製作についてなど、流暢な日本語でたっぷりとお話いただきました。

開催日 2024年3月26日 オンライン開催

登壇者 アラン・プール氏(『TOKYO VICE』エグゼクティブ・プロデューサー/監督)



### セミナー 映画脚本読み込み講座 第6弾

映画においてもっとも重要な脚本とは何か。土台であり設計図である脚本をいかに読み込むか。俳優として脚本を読むときの台詞以外の行間、ト書きをいかに読み、登場人物に反映させるか。脚本を読めることが、映像作品を具現化する上でいかに重要かを脚本の理論を丁寧で分かり易く解説いただきました。

開催日 2024年3月27日・28日(2日間) リアル開催

講師 加藤正人氏(脚本家 映画『クライマーズ・ハイ』、『風待ち』)



加藤正人氏

## 活字文化の グローバル発信・普及事業

文化庁 委託事業

日本の多様で豊かな活字文化を海外へ発信・普及させるためのプロジェクトを推進しました。海外発信の基盤となる翻訳家の発掘・育成を行うとともに、出版社等による作品の海外展開を促進し、あわせて、世界の文学関係者、出版関係者等を対象に、日本の活字文化の理解をより深めるための活動を実施。これらの活動を通じて、日本書籍の翻訳家を支援し、日本の書籍が数多く翻訳され、海外での普及が促進することを目指しました。

### 海外における日本書籍の出版・流通に向けた翻訳助成事業

日本の出版社の海外展開を支援することを目的に、日本の書籍を海外にライセンスアウトする際の営業や交渉において必要となる企画書の翻訳・作成と、サンプルの翻訳に係る費用の助成事業を実施しました。企画書の翻訳・作成については103件、サンプルの翻訳は32件が採択され、助成を受けた書籍から海外での出版契約が決まる成功事例が続々と増えています。

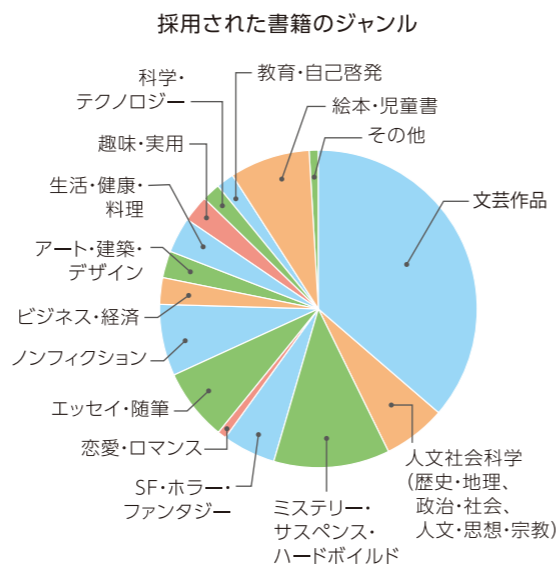
### 【採択事業者(34事業者)】

株式会社朝日新聞出版、SBクリエイティブ株式会社、株式会社太田出版、株式会社風と土と、株式会社河出書房新社、特定非営利活動法人記録と表現とメディアのための組織、株式会社グラフィック社、クロスメディアグループ株式会社、株式会社講談社、株式会社光文社、株式会社サンマーク出版、株式会社実業之日本社、株式会社集英社、株式会社樹村房、株式会社主婦の友社、株式会社小学館、株式会社祥伝社、株式会社新潮社、株式会社水鈴社、株式会社誠文堂新光社、株式会社ダイヤモンド社、株式会社筑摩書房、株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン、株式会社ディスクユニオン、東京書籍株式会社、株式会社東京創元社、株式会社徳間書店、株式会社日経ビーピー、株式会社ヌールエ、株式会社早川書房、株式会社福音館書店、株式会社双葉社、株式会社文藝春秋、株式会社ポプラ社

### フランクフルト・ブックフェア2023におけるプロモーション

2023年10月18日～22日に開催された「フランクフルト・ブックフェア2023」において、「Japan Book Bank」(p.32参照)と本事業との共同ブースをジャパン・スタンドに出展し、ブースと会場内で以下を実施しました。

- (1) 3名の作家(市川沙央氏、辻村深月氏、李 琴峰氏)のパネル展示
- (2) 芥川賞受賞作家、村田沙耶香氏の特別トークショーおよびサイン会
- (3) 日本の書籍をドイツで翻訳出版するための商談会



## 「JLPP翻訳コンクール」および「BUNGAKU DAYS 2024 SPRING」の開催



日本の優れた文学作品を翻訳して世界に発信し、文学水準の一層の向上を図るとともに、将来を担う翻訳家の育成等を目的として、第8回JLPP翻訳コンクール(英語部門)を開催しました。

また、第7回JLPP翻訳コンクールの受賞者(英語部門、フランス語部門)を対象に、現代日本文学の翻訳家を目指す方々のスキルアップ等を目的としたワークショップと出版セミナーを実施。さらに、第8回JLPP翻訳コンクールの授賞式および記念シンポジウム「BUNGAKU DAYS 2024 SPRING」を6年ぶりにリアル開催しました。

### ■「第8回 JLPP翻訳コンクール」

#### 実施概要

応募受付期間: 2023年6月1日～6月30日  
 受賞者発表日: 2024年1月29日  
 課題作品: 藤野可織著「私はさみしかった」  
 応募人数: 英語部門 271名

#### 英語部門審査委員

- Stephen Snyder氏(日本文学翻訳家、ミドルベリー大学教授)
- Allison Markin Powell氏(日本文学翻訳家)
- Sam Bett氏(日本文学翻訳家)

### ■「BUNGAKU DAYS 2024 SPRING」(リアル開催)

#### 開催概要

日時: 2024年3月10日13:00～16:45  
 会場: 九段会館テラス コンференス&バンケット

#### プログラム

- 第8回JLPP翻訳コンクール記念シンポジウム
  - セッション①「現代文学と古典文学／翻訳のクロスオーバー」  
川上弘美氏(作家)  
Stephen Snyder氏(日本文学翻訳家、ミドルベリー大学教授)
  - セッション②「翻訳出版のこれから／海外出版編集者と翻訳家」  
Tynan Kogane氏(ニューディレクションズ編集者)  
Sam Bett氏(日本文学翻訳家)
- 第8回JLPP翻訳コンクール授賞式
- 交流会(関係者のみ)

次回、第9回JLPP翻訳コンクールは、現代文学部門に加え、古典文学部門を新設しました。今回の対象言語は、現代文学部門は英語とドイツ語、古典文学部門では英語となります。応募受付は、2024年6月1日～6月30日。

JLPP翻訳コンクールウェブサイト: <https://www.jlpp.go.jp/>



#### 英語部門受賞者

- 最優秀賞(1名)  
 ● Rebecca Ann Gade氏(アメリカ)
- 優秀賞(2名)  
 ● Jo Lumley氏(イギリス)  
 ● Lisa Wilcut氏(アメリカ)



## 京都映画企画市

京都府 委託事業

### 映画企画コンテスト

開催日：2023年9月23日 ハートピア京都

京都にて時代劇・歴史劇企画を映像化できる映画企画コンテストを開催。新しい才能の企画実現の仕組みづくりを目的として、映像製作者を対象に京都府内での撮影を想定した時代劇ジャンルの作品企画を募集。2023年度は書類選考を通過した5企画のプレゼンテーションを行い、業界の第一線で活躍する犬童一心監督、矢島孝プロデューサー(松竹)、和田 隆プロデューサー(映画.com)の3名が応募企画を審査しました。優秀映画企画に選ばれた『サバイバル忍者』(馬杉雅喜監督)には、350万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映京都撮影所にて撮影が行われました。



## 京都映画企画市

時代劇の拠点、京都にて開催する時代劇映画のオリジナル企画コンテスト優秀映画企画は、太秦の撮影所にてパイロット版制作

### 2016年度優秀映画企画『黒の牛』(蔦 哲一朗監督)が企画市パイロット版から初長編化

歴代パイロット版から初めて長編化が実現。日本・アメリカ・台湾の国際共同製作として、蔦監督の故郷でもある徳島県と台湾にて35mmフィルムで撮影しました。台湾の名優リー・カンション氏を主演に迎え、日本人キャストは田中 泯氏、美術を部谷京子氏、音楽は故・坂本龍一氏が担当しており、国際色豊かなキャスト・スタッフが集結。2024年以降公開予定。



2023年3月 台湾記者会見の様子:左から2番目が蔦 哲一朗監督、中央がリー・カンション氏

### 映画企画相談会

開催日：2023年9月9日 オンライン

最前線で活躍するプロデューサーの久保田 傑氏、永井拓郎氏から企画作りのノウハウを学ぶことができる企画相談会をオンラインにて実施しました。

## 京都から世界に「マンガ」、「アニメ」を発信する西日本最大級のマンガ・アニメのイベント

京都市、および京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)実行委員会から「クリエイター志望者支援」企画・運営等業務を受託し、その一環として「京都国際クリエイターズアワード2023」の事務局運営等を実施しました。本賞は、世界のマンガ家を含むクリエイター志望者が京都を通じてプロデビューをするための機会創出を目的としています。



## 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)2023

京都市 委託事業

### 京都国際マンガ・アニメフェア(京まふ)

2012年より続くマンガ・アニメ関連の総合見本市。2023年は9月16日、17日に開催され、VIPOが運営に携わる「マンガ出張編集部@京まふ」は本祭から離れ11月18日、19日に京都国際マンガミュージアムにて実施しました。コロナ禍がようやく明け、ガイドラインの緩和に伴い、多くの編集部が出展、そして多くの漫画家志望者たちが自作を持ち込み大盛況となりました。

### 京都国際クリエイターズアワード2023 75の国/地域からエントリー

「京都国際マンガ・アニメ大賞」から名称の変更およびリニューアルを行い、コミックコンテスト(ストーリー・作画・コマ割りの三部門)・CGアニメコンテストの2コンテストでの実施となりました。世界の様々な国から1,000超の作品の応募がありました。

コミックコンテストは護静リユースケさんの『あなたのそばの怪異駆除屋』、CGアニメコンテストはスタジオななほさんの『子猫の配達員うーちゃん』が優秀賞を受賞。11月17日に京都市役所本庁舎・正庁の間で授賞式を行いました。

## 令和5年度コンテンツ海外展開促進事業

### コンテンツ関連ビジネスマッチング事業

経済産業省 委託事業

日本発コンテンツの海外市場における持続可能な収益モデルの構築に資するビジネスマッチングモデルの確立を目的としたプロジェクト。日本発のアニメ、マンガ、映画、音楽等のコンテンツや先進的なコンテンツ技術等、複数のコンテンツ分野に係るビジネスマッチングの機会を提供することにより、日本コンテンツの国際取引活性化や新市場創出を図ります。

### 中国ゲーム&アニメ会社訪日団とのビジネスマッチング交流会

中国との協業を検討している日本企業47社と、約3年ぶりに来日した中国のゲーム&アニメ業界をリードする企業・団体関係者19名が参加し、日中双方の政府政策の紹介と、日中コンテンツ事業者7社のプレゼンテーションを実施すると共に、ネットワーキング交流会を実施しました。

【開催日】2023年9月20日 【会場】VIPO会議室 ホールR/L



### 釜山国際映画祭併設見本市「Asian Contents & Film Market (ACFM)」出展&「APM」ピッチ

「釜山国際映画祭」併設マーケット「ACFM」にVIPOブースを出展し、3企画のプロデューサーが監督と共に参加、世界各国の映画関係者とミーティングを実施しました。また、同時開催の企画マーケット「APM (Asian Project Market)」に2企画を推薦。うち1企画が正式に選出され個別ピッチを行いました。

【開催日】2023年10月7日~10日 【会場】韓国・釜山



### 釜山国際映画祭併設見本市「Busan Story Market 2023」出展

「釜山国際映画祭」併設マーケット「Busan Story Market」にて、ACFMとパートナーシップを結び、映像化を目指す出版物を持つ企業6社がJapan delegationとして参加し、176件の商談を実施しました。

【開催日】2023年10月7日~10日 【会場】韓国・釜山



### スウェーデン・ゲームビジネス・テクニカルツアー

ストックホルムとシェブデにオフィスを構えるゲーム会社10社(Mojang、Coffee Stain Studiosなど)への企業訪問を実施しました。また、シェブデで開催された「Sweden Game Conference」において、現地のゲーム会社との商談を実施し、「Sweden Game Pitch」にも参加しました。

【開催日】2023年10月23日~27日 【会場】スウェーデン・ストックホルム/シェブデ  
【共催】ルーデイス株式会社



### A-JAPAN (Acceleration-JAPAN) ビジネスマッチング 第3弾

日本IP(4作品)の北米でのTVシリーズ化、リメイク化を目指しハリウッドのプロダクションやエージェンシーとのオンラインマッチング&セールスプロジェクトを実施しました。

【開催日】2023年10月30日~12月31日 【会場】オンライン開催  
【協力】Amuse Group USA, Inc.



## Anime NYCビジネスマッチング

日本の楽曲・アーティストの海外普及促進のため、業界注目度の高いアニメコンベンション「Anime NYC」との協業で、同イベント参加の米国企業と、アーティスト Billyrrromとのマッチングを実施しました。

【開催日】2023年11月16日～19日 ※「Anime NYC」会期は17日～19日  
【会場】米国・ニューヨーク



## 台北ゲームショー2024パブリッシャー向けピッチイベント

選考を通過した2作品のピッチを「台北ゲームショー」内会議室にて実施しました。会場には5社のパブリッシャー（シンガポール、中国、韓国、イギリス）が来場し、14社（アメリカ、イギリス、イタリア、韓国など）のパブリッシャーがオンラインでピッチイベントに参加しました。

【開催日】2024年1月25日～26日 【会場】台湾・台北  
【協力】Ukiyo Studios



## 「Rotterdam Lab」 ロッテルダム国際映画祭併設プロデューサー養成ラボ

「ロッテルダム国際映画祭」の企画マーケット「CineMart」の一部として実施されている映画プロデューサー育成プログラム「Rotterdam Lab 2024」に、日本の若手映画プロデューサー2名を派遣しました。

【開催日】2024年1月27日～31日 【会場】オランダ・ロッテルダム  
【参加者】林 健太郎氏 (Nothing New)、関口智子氏 (Modern Films)



## Kidscreen Summit 2024 ジャパンブース出展

北米最大のキッズエンターテインメント産業見本市である「Kidscreen Summit 2024」において、ジャパンデリゲーションとしてブースを出展し、日本の子ども・ティーン向けコンテンツ企業6社が商談を実施。渡航前の準備として希望者に向けて全4回のピッチトレーニングも実施しました。

【開催日】2024年2月4日～7日 【会場】米国・サンディエゴ



## ベルリン国際映画祭併設国際共同製作マーケット 「Visitors Programme Berlinale Co-Production Market」

「ベルリン国際映画祭」併設「European Film Market」にて、国際共同製作マーケットBCPMとパートナーシップ契約を結び、「ビジターズプログラム」に3名の若手プロデューサーを派遣しました。

【開催日】2024年2月16日～19日 【会場】ドイツ・ベルリン  
【参加者】古山知美氏 (イーアヘルツ株式会社)、小出大樹氏 (K2Pictures)、竹中香子氏 (ハイドロブラスト)



## ソングライティングキャンプ in タイ

日本と海外の音楽クリエイターの共同作業によるコーライトセッションをタイ・バンコクにて実施しました。日本人10名、タイ人10名のアーティストが計15曲を制作しました。

【開催日】2024年2月19日～23日 【会場】タイ・バンコク  
【協力】株式会社バグ・コーポレーション



## 韓国映像化IPビジネスマッチング

日本のIPを映像化した実績を持つ韓国の映像制作会社3社 (B.A.Entertainment、BIG OCEAN ENM、BULLDOZER STUDIO) と映像化を希望するIPを保有する日本の出版社等5社とのオンラインでのビジネスマッチングを実施しました。

【開催日】2024年2月26日～28日 【会場】オンライン開催 【協力】株式会社ロボット

## コ・フェスタ (JAPAN国際コンテンツフェスティバル2023)

国内外の日本のコンテンツに関わる多種多様なイベントを連携させ、海外へ効果的に情報発信するためのプロジェクトです。リアル開催が完全復活し参加者同士の直接交流がはかれ、世界のコンテンツ市場拡大が見込まれるなかで新たなファン層の獲得にも繋がりました。

※認定イベント数：31



## VIPO Film Award事業

自主事業

「NAFF It Project」(プチョン国際ファンタスティック映画祭、2023年6月30日～7月3日)、「APM」(釜山国際映画祭、2023年10月7日～10日)、「CineMart」(ロッテルダム国際映画祭、2024年1月28日～31日)といった、3つの国際映画祭マーケット事務局とのパートナーシップのもと、各企画マーケットにて、1つの優秀企画に「VIPO Film Award」を授与しました。

## 関連VIPO自主事業

自主事業

## プチョン国際ファンタスティック映画祭 ピッチング (NAFF It Project / Fantastic Film School)

アジア最大のジャンル映画企画マーケット「NAFF It Project」に5企画を推薦し参加支援しました。また、プロデューサー育成プログラム「NAFF Fantastic Film School」に2名のプロデューサーを選出し派遣しました。

【開催日】「NAFF It Project」2023年6月30日～7月3日  
「NAFF Fantastic Film School」2023年6月29日～7月5日  
【会場】韓国・プチョン



▲ NAFF It Project



▲ NAFF Fantastic Film School

## VIPO Indie Game Pitch Showcase

BitSummitのステージにおいて、選考を通過した5作品のゲーム開発者が国内外のパブリッシャーや投資家(約20名)に向けてピッチ(日/英)を実施しました。ピッチの様子はYouTube Liveでも生配信され、リアルタイムで約140名が視聴しました。

【開催日】2023年7月14日 【会場】日本・京都



## ATF×TTB Animation Lab & Pitch 2023

Asia TV Forum & Market (ATF)にて行われた「ATF×TTB Animation Lab & Pitch 2023」へ企画を推薦し、日本代表としてJET SET GO Ltd.が参加しました。ファイナリストに選ばれたアジアとヨーロッパのアニメーション9企画が、様々なテーマに沿ったラボとピッチセッションに参加しました。

【開催日】2023年12月5日～8日 【会場】シンガポール



コンテンツ海外展開促進・  
基盤強化事業費補助金  
J-LOD

経済産業省 補助事業



本事業は、経済産業省の令和3年度予算による「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金(J-LOD)」(約556.5億円)を受け、

- (1) 海外向けのローカライズ&プロモーションを行う事業の支援
- (2) 海外からの資金調達等のためのピッチングを行う事業の支援
- (3) withコロナ時代におけるエンタメビジネスを行う事業の支援
- (4) コンテンツ業界のDXに資するシステムの開発・実証を行う事業の支援
- (5) ストーリー性のある映像制作・発信を行う事業の支援

を実施するもので、日本発のコンテンツ等の海外展開を促進し、日本ブーム創出を通じた関連産業の海外展開の拡大、および訪日外国人等の促進につなげるとともに、コンテンツ産業が持続的に発展するエコシステムを構築することを目的としています。

※2023年6月30日まで事業期間を延長して実施しました。

コンテンツ海外展開促進・  
基盤強化事業費補助金  
(映像制作等支援) JLOX

経済産業省 補助事業



本事業は、経済産業省の令和4年度予算による「コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業費補助金(映像制作等支援)」(約50億円)を受け、

- (1) ライブエンタメ産業の新たなコンテンツ創出等の支援を行う事業
- (2) 映像制作等支援を行う事業
  - ①国内制作会社等による映像制作支援(プロダクション・ポストプロダクション支援)
  - ②地域ブランディング等を行うための映像(ブランデッドコンテンツ)の制作・発信を行う事業の支援
  - ③海外制作会社による国内ロケ誘致等に係る支援
  - ④国内制作会社等による映像制作支援(プリプロダクション支援)
  - ⑤コンテンツ製作の生産性向上に資するシステムの開発・実証を行う事業

- (3) 海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援を行う事業

を支援するもので、新たな事業環境を見据え、コンテンツ産業の輸出拡大・海外展開や新市場開拓を促すことを目的としています。当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため以下の必要経費の一部を助成するものです。

(1) ライブエンタメ産業の新たなコンテンツ創出等の支援を行う事業

ライブエンタメの繁忙期(秋期、年末年始等)に開催されるイベントにおいて、今後応用性のあるweb3.0(ブロックチェーン技術等)、仮想空間等に関する先端技術の活用や、海外での興行開催に関する前向きな取組を支援します。(2023年8月31日より公募を開始)

(2) 映像制作等支援を行う事業

①国内制作会社等による映像制作支援(プロダクション・ポストプロダクション支援)  
世界的に競争力を有する映像作品について、世界市場・資金調達環境に関する深い理解に基づく助言や、海外事業者とのネットワーク等の伴走支援を行うと共に、世界市場への効果的な展開やIPの多角的な活用に向けた積極的な事業展開を支援します。(2023年9月20日より公募を開始)

- ②地域ブランディング等を行うための映像(ブランデッドコンテンツ)の制作・発信を行う事業の支援  
映像制作会社等の新たな需要開拓を支援するため、デジタル配信を念頭においたストーリー性のある映像の制作・発信を行う事業を支援します。(2023年9月15日より公募を開始)
- ③海外制作会社による国内ロケ誘致等に係る支援  
国内映像産業の振興・地域経済の活性化・外国人観光客の誘客を目的として、海外制作会社等が国内で実施する映像制作(ロケ撮影等)を支援します。(2023年9月15日より公募を開始)
- ④国内制作会社等による映像制作支援(プリプロダクション支援)  
優れたクリエイターによる創作活動を支援するため、海外展開を目指すコンテンツの本格的な製作に必要な資金調達、ライセンス販売やパートナー獲得のためのピッチ映像の制作等を支援します。(2023年9月20日より公募を開始)
- ⑤コンテンツ製作の生産性向上に資するシステムの開発・実証を行う事業  
web3.0(ブロックチェーン技術等)、AI(生成系AIを含む)を始めとした新たな技術導入等により、コンテンツ製作・流通工程の効率化や流通モデルの変革・強化に資するシステムの開発・実証を行う事業および業界内の普及促進の取組を支援します。(2023年9月15日より公募を開始)

(3) 海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援を行う事業

コンテンツIPの権利者が主体となった又はコンテンツを有効活用した海外展開を行う際のローカライゼーションおよびプロモーションを行う事業を支援します。(2023年9月15日より公募を開始)

主な活動内容

- ▶ 補助金の対象や応募方法などを紹介する「補助金説明会」を開催。また、説明動画をホームページに掲載しました。
- ▶ 応募を検討する事業について相談を受ける「補助金相談会」を開催。また、メールや電話での相談も随時受け付けました。
- ▶ 交付決定を受けた事業者を対象に、補助を受ける経費の処理方法について基本的なルール説明等を行う「事業開始オリエンテーション」を開催しました。

我が国の文化芸術  
コンテンツ・スポーツ産業の  
海外展開促進事業費補助金  
(コンテンツ産業の海外展開  
等支援) JLOX+

新規事業 経済産業省 補助事業



本事業は、経済産業省の令和5年度予算による「我が国の文化芸術コンテンツ・スポーツ産業の海外展開促進事業費補助金(コンテンツ産業の海外展開等支援)」(60億円)を受け、

- (1) 海外向けのローカライゼーション&プロモーション支援を行う事業
- (2) 映像制作等支援を行う事業
  - ①国内映像制作を行う事業(プロダクション・ポストプロダクション支援)
  - ②国内映像企画開発を行う事業(プリプロダクション支援)
  - ③海外制作会社による国内ロケ誘致等に係る支援
- (3) コンテンツのデジタル化支援を行う事業
  - ①次世代デジタル技術等を活用したデジタルコンテンツ創出支援
  - ②コンテンツ製作の生産性向上に資するシステムの開発・実証支援

を支援するもので、新たな事業環境を見据え、コンテンツ産業の輸出拡大・海外展開や新市場開拓を促すことを目的としています。当補助金は、各事業の費用負担を軽減するため必要経費の一部を助成するものです。



## カンヌ監督週間 in Tokio

新規事業

自主事業

カンヌ国際映画祭「監督週間」  
上映作品を一挙上映  
「カンヌ監督週間 in Tokio」を  
アジア初開催

「カンヌ国際映画祭」の独立部門である「監督週間(Quinzaine des Cinéastes/ Directors' Fortnight)」と締結したコラボレーション契約の一環として、2023年12月8日～21日の2週間、アジア初上陸となる「カンヌ監督週間 in Tokio」を開催。カンヌ国際映画祭「監督週間 2023」で上映された長編・短編に加え、VIPO セレクトの日本映画を計17本上映。さらにゲストを招いてのトークイベント等も行いました。



「カンヌ国際映画祭」は世界三大映画祭の中でも突出した知名度と国際的に高い評価を誇る映画祭です。その中でも将来有望の片鱗を見せる優れた映像作品を1969年より上映し続けてきた「監督週間」。フランスの監督協会が運営している「監督週間」は、作家性を持つ監督が世界に出てゆく登竜門的な存在であり、また最も特異で前衛性のある、幅広いタイプの作品を紹介することを目的としています。過去には、ソフィア・コッポラ、スパイク・リー、アトム・エゴヤン、ジム・ジャームッシュ、ケン・ローチ、グザヴィエ・ドラン、日本からは大島 渚、北野 武、黒沢 清、三池崇史、諏訪敦彦、河瀬直美、西川美和といった今日の映画界を牽引する監督たちがこの「監督週間」から大きく飛び立っていきました。



### 「カンヌ監督週間 in Tokio」概要

【開催期間】2023年12月8日～21日

【会場】ヒューマントラストシネマ渋谷

【上映作品】カンヌ国際映画祭「監督週間2023」で上映された長編・短編作品/VIPOセレクトの日本映画

【主催】監督週間(Quinzaine des Cinéastes/ Directors' Fortnight)/  
特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)

【特別協力】AKIRA H

【協力】CINEFRANCE STUDIOS/ユニフランス/ELLE/日本映像翻訳アカデミー(JVTA)

【助成】在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

【メディアパートナー】株式会社U-NEXT HOLDINGS



## インド政府主催 「G20文化プロジェクト」

新規事業

文化庁 委託事業

2023年9月9日、10日にインド・ニューデリーで実施されたG20サミットおよびG20文化大臣会合に向けて、G20議長国であるインド政府主催の「G20文化プロジェクト」の一環として、VIPOが運営を担った、文化庁「令和5年度国際文化交流・協力推進事業(インド政府主催「G20文化プロジェクト」への参加に係る企画・実施業務)」が実施されました。

G20の首脳会議のテーマ「One Earth, One Family, One Future」に沿って、2つのプロジェクトに参加し、各種展示を行いました。各展示のテーマと、日本からの展示物は下記の通り。

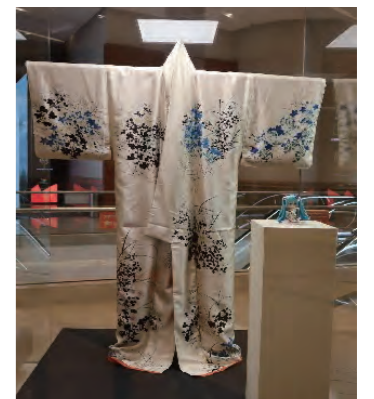
### 1) Digital Museum: Cultural Corridor

サミット会場のPragati Maidan内 International Exhibition-cum-Convention Centre (IECC)に各国の文化を象徴する文化遺産等を、物理展示およびデジタル展示するプロジェクト。

#### ① Objects of Cultural Significance: 文化的意義のあるもの(物理展示物)

- ねんどろいど 初音ミク 冬木小袖Ver.
- 重要文化財『小袖 白綾地秋草模様』(冬木小袖)(複製品)

【展示協力者】クリプトン・フューチャー・メディア株式会社/株式会社グッドスマイルカンパニー/  
独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館/独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター



#### ② Iconic Cultural Masterpieces: 象徴的な文化的傑作(デジタル展示物)

- 重要文化財『小袖 白綾地秋草模様』(冬木小袖)の3Dスキャンデータ

【展示協力者】凸版印刷株式会社/独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館



#### ③ Intangible Cultural Heritage: 無形文化遺産(デジタル展示物)

以下4本の能楽動画を1本の4K動画に編集して上映。

- 『能楽を通じた 日本の美・心』動画
- 『日本全国 能楽キャラバン!』プロモーション動画3本  
(『日本全国 能楽キャラバン!』沖縄 『日本全国 能楽キャラバン!』迎賓館赤坂離宮)  
(『日本全国 能楽キャラバン!』葉師寺)

【展示協力者】公益社団法人能楽協会

Objects of Cultural Significance ▲  
文化的意義のあるもの

#### ④ Natural Heritage: 自然遺産(デジタル展示物)

文化遺産も含まれる日本の四季折々の自然風景動画(4K)を編集、『日本の四季』と題して上映。

- 春: 弘前城跡 ● 夏: 熊野那智大社 ● 秋: 東福寺 ● 冬: 出羽三山/羽黒山、月山、湯殿山

【展示協力者】文化財デジタルコンテンツバンク(文化庁)



展示の説明を受ける岸田首相 ▲

#### ⑤ Symbols of Democracy: 民主主義の象徴に関連する品(デジタル展示物)

- 日本国憲法・御署名原本(デジタル画像)

【展示協力者】国立公文書館

### 2) Anthology of Poems: Under the Same Sky

著名な詩人で翻訳家であるRanjit Hoskot氏を編集担当に迎え、『Anthology of Poems: Under the Same Sky』と題した詩集を発行。詩集には、G20のテーマ「Vasudhaiva Kutumbakam(One Earth, One Family, One Future)」に沿った詩歌が英語とともに各国の言語で掲載されました。

- 堀田季何『永遠平和に向かって(Towards Perpetual Peace: 22 Haiku)』 俳句22句



## 令和5年度 海賊版対策事業

文化庁 委託事業

本事業は、特定の国・地域等における海賊版取締りの実効性を高めながら、正規版の流通を促進するため、侵害対策、正規版の流通促進を強化する目的で実施するセミナーで、文化庁著作権課から受託しました。日本文化コンテンツの著作権侵害が著しい一方で、消費拡大が見込まれる東南アジアの国・地域を対象に、セミナーとパネル・ディスカッションの二部で構成し、各国からのコンテンツ事業者が一堂に会する「AFA Singapore 2023」会場の一部にて、東南アジアアニメーションの「海賊版対策と正規版の流通」の促進を目的とするセミナーを対面で開催するとともに、後日アーカイブ配信も行いました。また、著作権意識向上のために行う普及啓発の一環として、「AFA Singapore」のメイン会場で一般ユーザーへの意識調査を実施しました。

### セミナー概要

**【名称】** AFA Business Connect 2023(ABC23: AFAビジネス・コネクト)  
- Connecting best practices in copyright protection and content development in Southeast Asia -  
(- 東南アジアにおける著作権保護とコンテンツ開発の最良の事例をつないで -)

**【開催日】** 2023年11月24日

**【会場】** Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre(シンガポール)

**【主催】** 文化庁

**【運営】** VIPO/SOZO

**【協力】** TMI総合法律事務所/一般社団法人ABJ

#### 午前の部 11:00~12:10 Lawyer's Session

**【セッション1】** 東南アジアにおける著作権101 - 法的観点から(アニメ業界における著作権侵害の最新事例)

**【ご挨拶】** 文化庁審議官(文化戦略官) 中原裕彦氏

**【モデレーター】** 石堂瑠威弁護士(TMI総合法律事務所)

**【登壇者】** シンガポール: Ms. Ruby Tham(Director, Intellectual Property, Drew & Napier)、タイ: Mr. Pongsacha Chayapong (Attorney, TMI Associates)、インドネシア: Ms. Gina Golda Pangaila(Senior VP Legal Anti-Piracy & Govt relations, VIDIO)

#### 午後の部 13:00~15:30 Player's Session

**【セッション2】** 日本アニメの適正なライセンス(配給、キャラクターライセンス、コンテンツプロモーション等)の手引きと今後の課題

**【登壇者】** 日本: 宍戸英治氏(円谷プロダクション、経営企画室、シニアプロジェクトマネージャー)、

シンガポール: Mr. Jeff Lee Chien(CEO, HAKKEN PTE LTD)

**【パネル・ディスカッション モデレーター】** Mr. Shawn Chin(SOZO Pte Ltd 創業者、AFAシンガポール主催)



▲セミナーの様子



▲パネル・ディスカッションの様子

## 令和5年度 海賊版対策事業 著作権セミナー(韓国)

新規事業

文化庁 委託事業

本事業は、日本の権利者の韓国における権利行使を支援し、ひいては両国の文化交流の促進に資するため、韓国の著作権担当部局である韓国文化体育観光部職員並びに韓国著作権委員会著作権調査局局長を招聘し、協議・セミナーを開催するもので、文化庁著作権課から新規受託しました。韓国関係機関、文化庁、弁護士、専門家と事前に協議・検討後、セミナーテーマ、実施日時、会場、構成プログラム、講演内容、対象者を決定した上でセミナーの開催準備、実施運営を行いました。また、第17回日韓著作権協議(政府間協議)の開催に向け、運営補助業務を行いました。

**【招聘期間】** 2023年9月12日~9月14日

**【招聘場所】** 東京、日本

**【主催】** 文化庁

### 著作権セミナー

**【開催日】** 2023年9月13日

#### 著作権セミナー① 9:00~11:50

**【会場】** VIPO会議室

**【第一部】** 経済産業省発表「海賊版対策と正規版流通に関する施策について」

**【第二部】** 総務省発表「海賊版対策、特にCDN サービスの悪用防止を含む対策について」

#### 著作権セミナー② 14:00~16:30

**【会場】** 集英社会議室

**【第一部】** ABJ/集英社発表「海賊版被害の実態について」

**【第二部】** 桜坂法律事務所発表「クラウドフレア訴訟に関するケーススタディ(訴訟プロパー、周辺事情)」

**【第三部】** コンテンツ海外流通促進機構(CODA)発表「CODAで実施されている具体的な海賊版対策事業の紹介」

**【第四部】** 映像産業振興機構発表「正規版流通を促進する取り組み。MANGA Plus by SHUEISHA 等」

### 第17回日韓著作権協議

**【開催日】** 2023年9月14日 10:00~12:30

**【会場】** 全国町村会館第3会議室

## 統括団体による 文化芸術需要回復・ 地域活性化事業 (アートキャラバン2)

独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

新型コロナウイルス感染症で傷んだ鑑賞環境復元と芸術水準維持のため、全国での公演や配信の支援(大規模公演型)とともに地域文化芸術関係団体・芸術家を中心として実施する取組を支援し、地域の文化芸術の振興を推進する(地域連携型)ことを目的に、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和4年度補正予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

### 【助成対象期間】

2023年4月1日～2024年1月31日

### 【交付決定件数】

大規模公演型：12件 地域連携型：2件

### 【主な活動内容】

- 交付決定団体からの問合せ対応
- 交付申請・概算申請・計画変更申請等の対応
- 実績報告に関わるマニュアル作成・公開
- 実績報告確認・額の確定業務

大規模で文化芸術水準を向上させる公演等の実施や配信を支援し、文化芸術の質の向上とその重要性や魅力を発信するとともに、芸術団体の活動拠点の形成を目的に、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和5年度予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

### 【助成対象期間】

2023年5月12日～2024年1月31日

### 【交付決定件数】

5件

### 【主な活動内容】

- 交付決定団体からの問合せ対応
- 交付申請・概算申請・計画変更申請等の対応
- 実績報告に関わるマニュアル作成・公開
- 実績報告確認・額の確定業務
- 次年度募集HPの設置、問合せ対応

全国における大規模で質の高い公演等の実施や配信を支援することを通じて、国内における文化的な地域格差を解消するとともに、統括団体による活動拠点の形成を促進することを目的にした、文化芸術統括団体を対象とした事業です。令和6年度予算にて実施される事業の運営事務局を受託しました。

### 【助成対象期間】

2024年4月1日～2024年12月31日

## 令和5年度 文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 (キャラバン)

独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

## 令和6年度 文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業 (全国キャラバン)

2024年度事業 独立行政法人日本芸術文化振興会 委託事業

## 東京都 コンテンツ活用促進事業

東京都 委託事業

東京都令和5年度予算「コンテンツ活用促進事業」の実施運営等を受託し、コンテンツ産業の発展と他産業との交流を促し、コンテンツ活用の裾野を広げていくことを目的に、「コンテンツ活用促進セミナー&コンテンツ企業×異業種企業マッチング交流会」をオンラインにて開催しました。



## 調査・情報サービス

## 全国ロケーション データベースの利用促進の ための調査研究

国立映画アーカイブ 委託事業

本事業では、全国各地のフィルムコミッションが持つロケーション情報を一括検索できるシステム「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」の充実化を軸に、そのデータベースを活用した日本各地域への映像作品撮影誘致や、国内外作品のロケーションに関わるさまざまな支援を行う地域のフィルムコミッションの体制強化等を目的としています。VIPOとジャパン・フィルムコミッション(JFC)\*がコンソーシアムを形成し、共同で事業の実施/運営を行いました。

\*ジャパン・フィルムコミッション(JFC):国内120以上のフィルムコミッション(FC)のネットワーク組織であり、世界およびアジアのFCネットワークの会員でもある。



### 「コンテンツ活用促進セミナー」の開催

2023年10月23日～12月15日にYouTube上にて申込者に限定公開し、2つの異なるテーマでコンテンツ活用におけるポイントや注意点、効果的な活用事例についてお話しいただきました。

テーマ①「企画×データで考えるマンガ・アニメとコラボしたデジタルプロモーションの秘訣」

テーマ②「キャラクター・アニメーションの積極活用で受け手を楽ませる企業ビデオ・観光PRコミュニケーションの“プチ・エンタメカ”」

### 「マッチング交流会」の開催

【開催日】2023年11月21日、22日

【参加者】コンテンツ企業50社、異業種21社

- コンテンツ企業：映像、アニメ、ゲーム、アプリ、音楽、キャラクター、WEB、ICT、VR等
- 異業種企業：製造、医療・福祉、教育、商店街、小売、観光等各企業から参加申し込み時にご提出いただいたエントリーシートを基に、事前にマッチングスケジュールを組み、オンライン商談室を用意。当日は、マッチングの成立した212件中、日程の調整できた164件の商談を実施しました。

## JL-DB JAPAN LOCATION DATABASE 全国ロケーションデータベース

### < 主要事業内容 >

- JL-DB利用促進のためのシステム機能追加検討、並びに運用保守・利用分析に関する業務  
「全国ロケーションデータベース(JL-DB)」は2023年度、文化庁から国立映画アーカイブに移管されました。
- JL-DBを通じた海外に向けた効果的な情報発信に関する調査
- 各フィルムコミッション(FC)への支援強化

### < 関連イベント情報 >

- ◆ 海外映像制作者の話が直接聞ける!「海外制作者セミナー」  
【開催日時】2024年1月16日  
【会場】ビジョンセンター日本橋 Vision Hall
- ◆ JFC全国ロケ地フェア 毎年度 夏冬二回開催  
夏：【開催日時】2023年8月3日  
【会場】東京交通会館12階 カトリアサロンA  
冬：【開催日時】2024年1月15日  
【会場】マイナビPLACE 歌舞伎座タワー23階 カンファレンスルーム





## Japan Content Catalog (JACC®)

自主事業

Japan Content Catalog(略称:JACC®)は、①映画、②テレビ番組、③音楽、④脚本、⑤ロケ地情報、⑥クリエイター、⑦書籍などの各コンテンツジャンルで構築したデータベースを一括検索システム「JACC®サーチ」でつなげ、コンテンツの基本情報や問い合わせ窓口情報を横断的に検索することができるデータベースプロジェクトです。

JACC®は英語にも対応しており、日本のコンテンツホルダーと国内外のバイヤーとのマッチングを促進しています。「JACC®サーチ」の対象となるデータベースは以下の7つで、2024年4月1日現在、英語での掲載コンテンツ総数は約112,000件です。一部は中国語(簡体字)にも対応しており、その掲載コンテンツ総数は約4,000件です。

※登録商標「JACC」は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



## 国際マッチングサイト 「Japan Creator Bank」

自主事業



<https://japancreatorbank.com/>

Japan Creator Bankは、日本のエンターテインメント業界で活躍している日本のトップクリエイターを検索できるウェブサイトです。本サイトには、海外での仕事に強い興味と意欲を持っている日本のクリエイターが登録されています。Japan Creator Bankには、検索機能だけでなく問い合わせ機能も実装されていますので、本サイト上で仕事の相談・依頼等を行うことが可能です。日本のクリエイターと一緒に仕事をするをお考えの方々にとっては大変便利な検索サイトです。

Japan Creator Bankでは、以下の日本のクリエイターを日本語／英語で検索することが可能です。

<p><b>脚本家</b></p> <p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の脚本家を紹介しています。</p>	<p><b>監督</b></p> <p>映画やドラマ等で活躍し、実績のある日本の監督を紹介しています。</p>	<p><b>声優</b></p> <p>アニメやゲーム等で活躍している日本の声優を紹介しています。</p>
<p><b>作曲家</b></p> <p>アニソン業界を中心に活躍している日本の作曲家を紹介しています。</p>	<p><b>映画プロデューサー</b></p> <p>映画で活躍し、実績のある日本のプロデューサーを紹介しています。</p>	

## 海外向けオンライン出版コンテンツカタログサイト「Japan Book Bank」

自主事業



<https://japanbookbank.com/>

「Japan Book Bank」は、日本の出版コンテンツに関する内容や著作権の権利情報などを集約したコンテンツカタログです。日本の出版物の翻訳出版に興味を持つ海外出版社や、映像化を希望する映像制作会社・プロデューサーに向けアプローチすることでマッチングを加速し、日本の出版コンテンツの海外展開を促進することを目的としています。

### 「Japan Book Bank」でできること

●オンラインカタログとして出版コンテンツの検索がいつでも可能  
幅広いジャンルでの日本の出版コンテンツを日本語／英語で検索することができます。

・コミック ・文芸/文庫 ・児童書 ・実用書  
・ビジネス書 ・学参/辞典 ・医学 他 (全12ジャンル)

●言語別著作権許諾情報を掲載  
商談前に本サイトを利用することで、効率の良い商談が可能となります。 ※著作権情報は、ID登録者のみ公開されます。

\*「Japan Book Bank」は、映画、テレビ番組、アニメ、キャラクター、音楽、ゲーム、脚本、ロケ地情報、クリエイターなどのデータベース一括検索システム「Japan Content Catalog」([japancontentcatalog.jp](http://japancontentcatalog.jp)、通称:JACC®)と連携しています。

●指定した窓口にて問い合わせを受信  
メールアドレスを開示せずに海外からの問い合わせを受けることができます。 ※ID登録者のみ問い合わせが可能となります。

●「映像化の原作」としてアピール  
トップページの特集等を活用し、映像化の原作として海外の出版社、映像制作会社やプロデューサーに効果的に発信することが可能です。

### ローンチから3年で成約数は206件を突破！国内の登録出版社数は180社以上 海外向け“成果の出る出版BtoBサイト”として日常使いカタログへと進化

2021年3月18日のサイトオープン以来、約3年間で登録出版社数は180社を超え、掲載書籍数も6,200冊以上と順調に成長を続けています。1,000名以上ものユーザーがIDを登録。サイトをきっかけとした成約も200件以上生まれています。

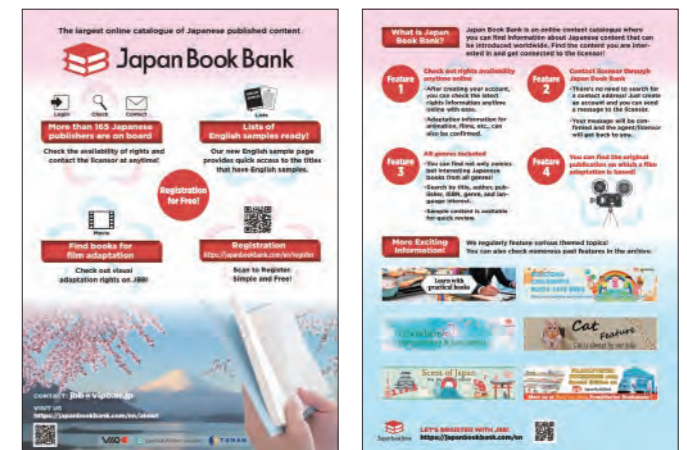
### JPROデータとの連携

一般社団法人日本出版インフラセンターのJPROデータと連携し、国際標準の書籍分類コード Themaを活用したタグ検索を実装。海外からの検索利便性を向上させました。

### フランクフルトブックフェアへの出展

フランクフルトブックフェアでは、JAPANブース内に「活字文化のグローバル発信・普及事業」と連動した「Japan Book Bank」ブースを出展し、チラシやノベルティの配布を通じて来場者へ直接アプローチをしました。

※登録商標「JACC」は、当機構が株式会社ITSCから承諾を得て使用しています。



フランクフルトでの配布チラシ(表)

フランクフルトでの配布チラシ(裏)

## アーカイブ中核拠点形成モデル事業

国立映画アーカイブ事業

歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料が散逸・消失することのないよう、アーカイブの構築に向けた資料の保存及び活用を図るための望ましい仕組みの在り方について調査研究等を行い、映画関連の非フィルム資料のアーカイブに係る中核拠点の形成を図るため、当該分野のネットワーク化を推進することにより、分野全体のアーカイブの構築・運営や共同利用の促進等を行うことを目的としています。

※2018年～2022年度まで実施された文化庁委託事業「アーカイブ中核拠点形成モデル事業（撮影所等における非フィルム資料）」が、2023年度より国立映画アーカイブに事業移管しました。

### ネットワーク化の推進

▶ 映画資料所蔵館、IPホルダー、研究者など様々な映画資料関係者が参加する「全国映画資料アーカイブサミット2024」をオンライン開催しました。5回目の開催となる今年度は、望ましい映画資料アーカイブの構築に向けて議論を深めるべく、地域連携をテーマにしたシンポジウム、映画館にまつわる資料アーカイブや映画分野の展覧会キュレーションに関する発表など多様なプログラムを実施しました。

### 現地調査研究

▶ 調査範囲を東海・近畿地区へ拡大し、名古屋鉄道、名古屋市博物館、名古屋タイムズアーカイブス委員会、羽島市映画資料館、亀山市歴史博物館、小津安二郎松阪記念館の映画資料の所在調査を実施しました。また関東（東京・練馬）地区の東映東京撮影所にて映画資料の所在調査を実施しました。

### 所在地情報検索システムの一般公開と新規連携

▶ 2020年度からベータ版を限定公開していた「映画資料所在地情報検索システム（JFROL）」を正式オープンしました。また従来の東映大森映画村（京都）、松竹大谷図書館（東京）、川喜多記念映画文化財団（東京）、北九州市立松永文庫（福岡）、早稲田大学演劇博物館（東京）に加えて、新たに調布市立図書館（東京）の映画資料データを連携させました。

### < イベント開催 >

#### 1. 「全国映画資料アーカイブサミット2024」

映画資料の保存・活用等に関する様々な事例報告やセミナー、シンポジウム等を開催。

【日 時】2024年1月26日10:30～17:00 【場 所】ライブ配信（主会場VIPO会議室R） 【参加者】193名 【参加費】無料

【プログラム（タイトルと登壇者）】

国立映画アーカイブの挨拶

**第1部：**報告 データベース「映画資料所在地情報検索システム（JFROL）」の新規連携／佐藤友則（事務局）

**第2部：**報告「映画資料をめぐる国立映画アーカイブの新たな取り組み」

1. 重複する映画資料の頒布事業／宮本法明（国立映画アーカイブ 研究員）
2. ウェブサイト「映画遺産—国立映画アーカイブ映画資料ポータル—」の開設／岡田秀則（国立映画アーカイブ 主任研究員）

**第3部：**報告「映画資料展—2023年現地報告」

1. 甲斐荘楠音の全貌 絵画、演劇、映画を越境する個性／山口記弘氏（東映株式会社・経営戦略部 フェロー）
2. 娯楽映画の黄金時代・日欧映画交流／ダニエル・アギラル氏（映画史研究家、翻訳家）
3. 「日本アニメーションの父」政岡憲三とアニメーションの現在／堀越峰之氏（学芸員）

**第4部：**セミナー「映画資料と著作権～文化的活用とデジタルアーカイブをめぐって」／数藤雅彦氏（五常総合法律事務所 パートナー弁護士）

**第5部：**セミナー「映画資料最前線—映画館文化発掘の試み」

1. かつてそこに映画館があった-「消えた映画館の記憶」について／澤田佳佑氏（サイト「消えた映画館の記憶」管理人）
2. 鳥取県の映画文化研究-映画資料が語る地方の映画文化史／佐々木友輔氏（鳥取大学地域学部 准教授）、杵島和泉氏（鳥取大学地域学部）

**第6部：**シンポジウム「映画資料アーカイブと地域連携—その可能性を探る」

- パネリスト：岩岡太郎氏（小津安二郎松阪記念館 研究員）／加藤厚子氏（茅ヶ崎ゆかりの人物館 運営アドバイザー）／近藤良一氏（羽島市映画資料館 相談役）／田中晋平氏（神戸映画資料館 研究員）
- モデレーター：岡田秀則（国立映画アーカイブ 主任研究員）

#### 2. “御意見無用!東映東京撮影所物語／関連展示:知られざる「日本映画博覧会」”（展示）

【日 程】2024年2月10日～18日 【場 所】調布市文化会館たづくり2階 北ギャラリー 【参加費】無料

【内 容】

2023年度の関東（東京・練馬）地区及び東海・近畿地区の実地調査結果を元にキュレーションを行い、東映東京撮影所の歴史と日本映画博覧会をテーマに展示を実施しました。前者では、東映東京撮影所で所在を確認した資料と国立映画アーカイブ所蔵資料や個人からの提供資料を組み合わせて、前史から現在にいたるまでの東映東京撮影所の歴史の一端を紹介しました。また後者では、国立映画アーカイブや個人所蔵の貴重な資料を通じて、1957年に愛知県・犬山市で開催されながらも顧みられる機会の少ない巨大イベント「日本映画博覧会」の一端を紹介しました。

## VIPOインタビュー

2016年からスタートしたVIPOインタビューシリーズ。コンテンツ業界の旬なトピックやイベント、プロジェクト等をテーマにさまざまな方にインタビューを実施。毎年、実施している内閣府の知的財産戦略推進事務局長にお話を伺う「知的財産推進計画」についてや、VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」の講演やVIPO独自のセミナー内容を記事化して紹介しています。（掲載先 <https://www.vipo.or.jp/interview/list/>）

### 2023年5月

「コンテンツコラボ」の今を斬る!日本のコンテンツは世界と戦う武器になれるのか?!—ライセンサーとライセンスシーをつなぐエージェンシーに聞く



原 浩平氏  
（株式会社トキオ・ゲッツ ファウンダー兼顧問）

「Entertainment Makes Opportunity」（エンタメは人生の「きっかけ」を作る）をコンセプトにかかげるトキオ・ゲッツは、「コンテンツの世界観」を守りながら、ライセンサーとライセンス両者をつなぐエージェンシーとして様々なコラボレーションを生み出しています。今回は、ファウンダー兼顧問の原 浩平氏に、コンテンツコラボの最前線で起きていること、コンテンツビジネスの海外展開における課題や今後の展望などについてお伺いしました。

### 2023年6月

映画「ブレット・トレイン」における、日本発楽曲のシンク活用～シンクビジネスで広がる未来の可能性～



田端花子氏  
（VIPOエグゼクティブ・ディレクター／ユーマ株式会社 取締役）

2022年9月に公開された映画「ブレット・トレイン」では、たくさんの日本の楽曲が使用されました。今回は楽曲の起用にあって、権利関係のクリアランスに携わり、本作品のミュージックスーパーバイザーのシーズン・ケント氏とお仕事をされた田端花子氏に、シンクビジネス\*についてお話を伺いました。

（\*シンクビジネス：映画等の映像作品に既存楽曲を使用する際の楽曲選定や、それに伴って発生する権利関係のクリアランス等関連業務のこと。日本ではシンクロと言われる）

### 2023年9月

イタリア企画マーケットに参加した若手プロデューサー—小山内照太郎、鈴木徳至、後藤美波、3人に聞く! 国際共同製作の魅力と今世界はどうなってる……?



〈前編〉「ひらめきやエネルギーは国際映画祭やマーケットに参加すると生まれる!」

〈後編〉「世界中に友だちがいたほうが作りたい映画が作りやすい!」

小山内照太郎氏（Survivance SARL）  
鈴木徳至氏（株式会社コギトワークス）  
後藤美波氏

「VIPO Film Lab」は、世界で活躍できる若手映画製作者を育成することを目的に2021年度よりスタートしました。その1コースである「脚本コース@ウディネ」を中心に、「ファーイースト映画祭」、「FOCUS ASIA」企画マーケット「ALL GENRES PROJECT MARKET」、ワーク・イン・プログレス部門「FAR EAST IN PROGRESS」、それぞれに若手プロデューサーが参加。2時間にわたってじっくりお話を伺いました。

### 2023年11月

「みんななかよく」に込められた思いと、「第二の創業」として経営に挑んだサンリオの未来とは  
（VIPOアカデミー「コーポレートリーダーコース」経営者講演より再構成）



辻 朋邦氏（株式会社サンリオ 代表取締役社長）

1960年の創業以来、初めての社長交代として、2020年に31歳の若さで2代目社長に就任した辻 朋邦氏。コロナ禍で世界的に経済が落ち込み、キャラクターのライセンスビジネスを巡る環境が厳しさを増していた中で、組織の風土改革やキャラクターの創出方法の幅を広げるなど「第二の創業」という覚悟で経営に挑まれました。社長就任時に掲げたミッションや「みんななかよく」という企業理念に込めた辻氏の新しい解釈など、サンリオの未来への創造と挑戦についてお話しいただきました。

### 2023年12月

「カンヌ 監督週間 in Tokio」特別企画—フランスと共同製作で映画を作る平井敦士監督のカンヌまでの軌跡とその後



平井敦士監督

作家性を持つ監督が世界に出てゆく登竜門的な場である「カンヌ国際映画祭」。その中でも最も特異で前衛性のある幅広いタイプの作品を紹介することを目的とする「監督週間」に選出された『ゆ』の平井敦士監督は、フランスのパリを拠点に活動しています。2012年に渡仏してから平井監督がどのように映画業界とつながりを持ったのか、また映画制作にかける想い、フランスとの共同製作に関してや資金集めの方法など、映画業界を目指す若手が海外共同製作をするためのヒントと共に話を伺いました。

### 2024年3月

内閣府に聞く—「海外展開」がキーとなる新たなクールジャパン戦略とは。～日本独自の商慣習や制作手法の見直しとデジタル化・DX化の必要性～



奈須野 太氏  
（内閣府 知的財産戦略推進事務局長）

毎年度、実施している内閣府 知的財産戦略推進事務局長へのインタビュー。今年は「知的財産推進計画書」の中から、デジタル時代のコンテンツ戦略の鍵となる海外展開についてそれぞれのコンテンツごとのお話や、また人材育成やロケ誘致に関して政府としてどのように取り組んでいくのか? 等を伺いました。

### 2024年3月

アジア初開催! 「カンヌ監督週間 in Tokio」アーティストック・ディレクター ジュリアン・レジ氏インタビュー～「監督週間」が求めるものと新たな挑戦をするすべての映画監督たちへ



Julien Rejl（ジュリアン・レジ）氏  
（「カンヌ監督週間」アーティストック・ディレクター）

「カンヌ国際映画祭」の独立部門で、フランスの映画監督協会が運営する「監督週間」が昨年12月に「カンヌ監督週間 in Tokio」として開催されました。イベントの開催にあわせ、「監督週間」の現アーティストック・ディレクターであるジュリアン・レジ氏も来日。この映画祭にかける強い思いと、いま見つけ出したいと思っている「新しい表現のスタイル」をもつ監督像についてお話しいただきました。